

項ヲ議決セシムルコトヲ得

行政實例

◎區會ノ議決ヲ以テ賦課スル區費ノ賦課徵收ノ形式

區會ノ議決ヲ以テ賦課スル區費ト雖モ市町村稅トシテ賦課徵收スルモノトス

◎區會ト起債

區會ハ市町村内ノ一部有財產營造物ニ關スル事務ノ爲設置スルコトヲ得ルニ止マルモノナルヲ以テ區ハ負債ヲ起スノ權能ヲ有セサルト同時ニ區會ハ起債事項ヲ議決スルコトヲ得ス

第二百二十六條 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ町村條例中ニ之ヲ規定スヘシ區總會ト組織ニ關スル事項ニ付亦同シ

2 區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス 但シ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

3 區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス
第二百二十七條 第二百二十四條ノ場合ニ於テ町村ノ一部府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二百二十八條 第二百二十四條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノ、外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 町村組合

第二百二十九條

町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

2 町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合内各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

3 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

4 町村組合ハ法人トス

訓令 通牒 ◎道路ニ關スル費用負擔事務ノ爲設置セル組合管理者ノ權限

(大正一一、一〇、二五、發甲第四四) 號新潟縣ノ照會ニ對スル局長回答

問 大正八年二月二十日帝國議會(衆議院)道路法委員會ニ於ケル政府委員ノ說明ニ依リハ道路ノ路線ヲ認定シ其道路ノ管理事務ヲ共同處理スルカ爲ニ市町村又ハ町村組合ヲ設ケ得ルモノノ如ク思料セラレルモ市制町村制ノ規定ニ依リ設ケル市町村組合ハ市町村ニ屬スル事務ニ限ラルモノニシテ市長町村長ノ權限ニ屬スル路線認定及管理事務ヲ目的トスル組合ハ設ケ得サルモノノ如クニモ思料セラレ聊カ疑義有之候ニ付何分ノ御回示相成度

答 二月二十一日土收第六三號ヲ以テ標記ノ件御照會相成候處道路ニ關スル費用負擔事務

務處理ヲ目的トシテ設置セル組合ニ於テハ組合長ハ路線ノ認定及道路ノ管理ノ權限ヲ有スル次第ニ付右様御了知相成度

第三百十條 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
2 前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セムトスルトキハ組合會ノ議決ニ依リ其ノ組合町村ノ數ヲ増加セムトスルトキハ其ノ町村組合ト新ニ加ハラムトスル町村トノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
3 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ一部事務ノ爲設クル組合ノ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第三百十一條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
2 組合規約ヲ變更セムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
3 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

行政實例

◎町村制第三百十一條第二項ノ解釋

- 一、制第三百十一條第二項ニ依ル町村組合規約變更協議案ヲ發シ得ルモノハ關係各町村中何レノ町村ニテモ差支ナキモノトス
 - 二、協議ヲ受ケタル町村ハ其ノ案件ニ付可否ヲ表示セサルヘカラサルハ當然ノコトニシテ之カ爲町村會ノ招集ヲ要スヘキモノトス
 - 三、協議ヲ受ケタル町村ニ於テ協議案タル規約變更ノ件數ヶ條ナル場合其ノ内一ヶ條ニ對シ不同意ナルトキハ不同意ノ箇條ト異議ナキ箇條トカ性質上不可分ノモノニ非スシテ且當事者町村ニ於テ不同意ノ箇條ヲ除クトスルモ尙協定スルノ意思ヲ有シタル場合ニ於テハ其ノ異議ナキ箇條ノ範圍ニ付協議調ヒタルモノトシテ取扱ヒ可然モノトス
 - 四、關係町村ニ於テ變更規約案ヲ作製シ各町村ニ協議シ全部ノ同意ヲ得協議調ヒタル場合ニ於ケル許可申請ハ各町村連署ヲ以テ申請スヘキモノトス
- 第三百十二條** 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル町村、組合ノ共同事務及組合役場ノ位置ヲ定ムヘシ
- 2 一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ
- 第三百十三條** 町村組合ヲ解カムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
- 2 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ町村組合ヲ解クコトヲ得

- 第三百三十四條** 第三百三十條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係町村ノ協議關係町村ト組合トノ協議又ハ組合會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム
- 第三百三十五條** 第三百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
- 第三百三十六條** 第三百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第三百三十七條** 第三百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第三百三十八條** 第三百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第三百三十九條** 第三百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 第三百四十條** 第三百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

訓令 通牒

◎市町村組合ニ組合參事會設置 (大正七、五、二、地第二、二三四號通牒)

市町村組合ニ參事會ヲ置クヤ否ノ件ニ付福島縣知事ヨリ照會中ノ處市町村組合モ又市制

ニ關スル規定ヲ準用スルノ結果組合參事會ヲ置クヘキモノト省議決定相成候旨其筋ヨリ通牒有之候

第八章 町村ノ監督

第三百三十七條 町村ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第三百三十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三百三十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第三百四十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

2 行政訴訟ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

3 決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

4 異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

5 異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

町村制 第八章 町村ノ監督

者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

訓令通牒

◎市制町村制上訴願ノ手續及經由行政廳

- 一、市制町村制ニ依ル上訴願ノ手續ハ制ニ別段ノ規定アルノ外上訴願法ニ依ルヘキモノトス
- 二、(市制町村制第八條ノ議決又ハ市制第三十五條町村制第三十七條ノ裁決)ニ對スル上訴願ノ如キハ市町村會ヲ以テ上訴願法第二條ノ行政廳ト見做シ總テ該會ヲ經由スヘキモノトス

行政實例

◎決定又ハ裁決アリタル日ノ意義

町村制第四百十條中「決定又ハ裁決アリタル日ヨリ」トハ決定書裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリトノ意ナリ

◎上訴願法第二條ノ行政廳ト市町村會ヘ提出ノ手續

市町村會ノ與ヘタル決定ニ對シ上訴願セントスルトキハ決定ヲ爲シタル市町村會ハ上訴願法第二條ノ行政廳ニ該當スルモ市町村會ハ常設ニ非サルヲ以テ市町村長ニ提出セハ可ナリ前項ニ依リ上訴願ヲ受ケタル市町村長カ市町村會ニ送付スルニハ別段期間ノ定メナキモ上訴願法第十一條第一項ノ期間ハ前項ノ趣旨ニ依リ市町村長カ受領ノ日ヨリ起算スヘキヲ以テ速カニ市町村會ヲ召集シ辨明ヲ議決セシムルヲ要ス

第四百十條ノ二 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除クノ外其ノ決定ニ付セラレタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ爲スヘシ

2 府縣參事會上訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

第四百十一條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ

書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

2 監督官廳ハ町村ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

3 上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第四百十二條 內務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

2 町村會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第四百十三條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

2 町村長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

3 前二項ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四百十四條 町村長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時

代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得 但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村費ヲ以テ辨償セシムヘシ

2 臨時代理者ハ有給ノ町村吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

訓令通牒

◎職務管掌官吏ノ旅費支給方 (明治四五、七、一〇、地第二、七九一號通牒)

市制第六十四條又ハ町村制第六十四條ニ依リ官吏ヲ派遣シタル場合其旅費ハ派遣ヲ受ケタル市町村ヨリ本人ニ直接辨償スヘキコトニ決定相成候

第四百十五條 削除

第四百十六條 削除

第四百十七條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ 但シ第一號、第四號、第六號及第十一號ニ掲クル事件ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

一、町村條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二、基本財産及特別基本財産並林野ノ處分ニ關スルコト

三、第九十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更シ又ハ廢止スルコト

四、使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト

五、均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト

六、特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト

七、第一百二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ町村ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムルコト

八、第四百四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコト

九、第一百五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スルコト 但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十、繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

十一、町村債ヲ起シ並ニ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト 但シ第一百十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

訓令 通牒

◎繼續費ノ新設變更 (大正一四、一、二六、地發甲第八號局長通牒)

標記ノ件許可稟請ノ場合ハ爾今左記書類添付相成度

一、理由書

二、事業計畫書(變更ノ場合ハ從來施行セル事業ノ成績及變更計畫ノ大要)

三、事業費財源調 但シ收入ヲ生スヘキ事業ニシテ之ヲ財源ニ充當セムトスルモノニ付テハ毎年度收入見込書ヲ添付スルコト

四、繼續年期間ニ於ケル財政計畫書(變更ノ場合ハ當該年度ノ財政計畫書)

◎公園ノ設置廢止變更 (大正一五、四、二六、地第二七九號通牒)

公園ノ設置廢止變更ハ從來當廳ノ許可ヲ要シタルモ (不動産ノ管理處分トシテ監督官廳ノ許可ヲ經ルノ外) 爾今單ニ其ノ都度是カ報告ヲナスヲ以テ足ルコトト相成候

第四百十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第四百十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第二百五十條 府縣知事ハ町村長、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、貳拾五圓以下ノ過怠金及解職トス 但シ町村長、助役、收入役及副收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ行フ

2 懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障アル時ハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ

3 府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス

4 解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

5 府縣知事ハ町村長、助役、收入役及副收入役ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

6 懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ公職ニ就クコトヲ得ス

第二百五十一條 町村吏員ノ服務紀律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

2 前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ貳拾五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九章 雜 則

第二百五十二條 削除

第二百五十三條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事又ハ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第二百五十四條 第十一條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二百五十五條 本法ニ於ケル直接稅及間接稅ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第二百五十六條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ町村ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノ、外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二百五十七條 本法ハ北海道其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス

2 前項ノ地域ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ本法ニ代ハルヘキ制ヲ定ムルコトヲ得

第二百五十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十四年十月一日施行)

第二百五十九條 本法施行ノ際現ニ町村會議員、區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設クル町村組合會議員ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

第六十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス 但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

2 舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看做ス

第六十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (大正十年法律第五十九號附則)

本法中公民權及選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十年勅令第一八九號) (大正十年五月二十日施行)

附 則 (大正十五年法律第七十五號附則)

1 本法中公民權及議員選舉ニ關スル規程ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正十五年勅令第二〇八號) (大正十五年七月一日施行)

2 第三十八條ノ規程ニ依リ町村會ヲ設ケサル町村ニ付テハ本法ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(同上)

3 次ノ總選舉ニ至ル迄ノ間從前ノ第十四條第十七條第十八條第三十一條第三十三條及第三十六條ノ規定ニ依リ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケルコトヲ得

4 本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十八條乃至第十八條ノ五ニ規定スル期日又期間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ期日又ハ期間ヲ定ム 但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

5 本法施行ノ際大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ同法ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

6 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (昭和四年法律第五十七號附則)

1 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (昭和四年六月勅令第八十五號ヲ以テ昭和四年七月一日ヨリ施行)

2 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

市制町村制施行令

(大正十五年六月二十四日勅令第二百一號)

第一章 總 則

第一條 市町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ市町村長ノ臨時代理者又ハ職務管掌ノ官吏ハ歳入歳出豫算カ市町村會ノ議決ヲ經テ成立スルニ至ル迄ノ間必要ナル收支ニ付豫算ヲ設ケ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 市町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ府縣知事ハ必要ナル事項ニ付市町村條例ノ設定施行セラル、ニ至ル迄ノ間從來其ノ地域ニ施行セラレタル市町村條例ヲ市町村ノ條例トシテ當該地域ニ引續キ施行スルコトヲ得

第三條 市町村ノ廢置分合アリタル場合ニ於テハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村其ノ事務ヲ承繼ス、其ノ地域ニ依リ難キトキハ府縣知事ハ事務ノ分界ヲ定メ又ハ承繼スヘキ市町村ヲ指定ス

2 前項ノ場合ニ於テ消滅シタル市町村ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ打切り其ノ市町村長(又ハ市町村長ノ職務ヲ行フ者)タリシ者之ヲ決算ス

3 前項ノ決算ハ事務ヲ承繼シタル各市町村ノ市町村長之ヲ市町村會ノ認定ニ付スヘシ

4 市制第四百二十二條第三項又ハ町村制第二百二十二條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 市町村ノ境界變更アリタル爲事務ノ分割ヲ要スルトキハ其ノ事務ノ承繼ニ付テハ府縣知事之ヲ定ム

第五條 市制第八十二條第三項ノ市ニ於テ新ニ區ヲ劃シ又ハ其ノ區域ヲ變更セントスルトキハ市ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ 但シ耕地整理若ハ區劃整理ノ爲區ノ區域ヲ變更セントスルトキ又ハ第六十條第一號若ハ第二號ノ場合ニ於テ區ノ區域ヲ變更セントスルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條 市制第十一條及町村制第九條ノ規定ニ依リ除外スヘキ學生生徒左ノ如シ

一 陸軍各部依託學生生徒

二 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生造船學生造機學生造兵學生並ニ海軍豫備生徒及海軍豫備練習生

第二章 市町村會議員ノ選舉

第七條 市制第二十一條ノ五第三項又ハ町村制第十八條ノ五第三項ノ規定ニ依リ選舉人名簿ノ調製、縱覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ヲ定メタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第八條 市町村ノ境界變更アリタル場合ニ於テハ市町村長ハ選舉人名簿ヲ分割シ其ノ部分ヲ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長ニ送付スヘシ

2 市町村ノ廢置分合アリタル場合ニ於テ名簿ノ分割ヲ以テ足ルトキハ前項ノ例ニ依リ其ノ他ノ場合ニ於テハ從前ノ市町村ノ市町村長(又ハ市町村長ノ職務ヲ行フ者)タリシ者ハ直ニ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長ニ選舉人名簿ヲ送付スヘシ

3 市町村長選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第九條 前條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選舉人名簿ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ニ係ル地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ選舉人名簿ト看做ス

第十條 第八條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選舉人名簿確定前ナルトキハ名簿ノ縱覽確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

2 前項ノ規定ニ依リ期日及期間ヲ定メタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第十一條 市制第二十五條第六項又ハ町村制第二十二條第六項ノ規定ニ依リ盲人カ投票ニ關スル記載ニ使用スルコトヲ得ル點字ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

2 點字ニ依リ投票ヲ爲サントスル選舉人ハ選舉長又ハ投票分會長ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ、此ノ場合ニ於テハ選舉長又ハ投票分會長ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

3 點字ニ依ル投票ノ拒否ニ付テハ市制第二十五條ノ三又ハ町村制第二十二條ノ三ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於テハ封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

4 前項ノ規定ニ依リ假ニ爲サシメタル投票ハ市制第二十七條ノ二第二項及第三項又ハ町村制第二十四條ノ二第二項及第三項ノ規定ノ適用ニ付テハ市制第二十五條ノ三第二項及第四項又ハ町村制第二十二條ノ三第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第十二條 市制第二十七條ノ四又ハ町村制第二十四條ノ四ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設ケタルトキハ市町村長ハ直ニ其ノ區劃及開票分會場ヲ告示スヘシ

第十三條 開票分會ハ市町村長ノ指名シタル吏員開票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

第十四條 開票分會ノ區劃内ノ投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘投票録及選舉人名簿ノ抄本(又ハ選舉人名簿)ト併セテ之ヲ開票分會長ニ送致スヘシ

第十五條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票分會長ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第十六條 開票分會長ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ之ヲ朗讀シ二人以上ノ開票立會人ト共ニ之ニ署名シ直ニ投票録及投票ト併セテ之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第十七條 選舉長ハ總テノ開票分會長ヨリ第十五條ノ報告ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日(又ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日若ハ其ノ翌日)選舉會ニ於テ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査シ市制第二十七條ノ二第三項又ハ町村制第二十四條ノ二第三項ノ規定ニ依リ爲シタル點檢ノ結果ト併セテ各被選舉人(市制第三十九條ノ二ノ市ニ於テハ各議員候補者)ノ得票總數ヲ計算スヘシ

第十八條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ選舉長ハ前條ノ規定ニ準シ其ノ部分ニ付前條ノ手續ヲ爲シ他ノ部分ニ於ケル各被選舉人(市制第三十九條ノ二ノ市ニ於テハ各議員候補者)ノ得票總數ト併セテ其ノ得票總數ヲ計算スヘシ

第十九條 開票分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ市町村長ハ市制第三十二條第一項又ハ町村制第二十九條第一項ノ報告ニ開票録ノ寫ヲ添付スヘシ

第二十條 市制第二十三條第五項及第六項並ニ町村制第二十條第四項及第五項ノ規定ハ開票立會人ニ、市制第二十四條第一項及第二項並ニ町村制第二十一條第一項及第

二項ノ規定ハ開票分會場ニ、市制第二十七條ノ二、第二十七條ノ三及第二十九條並ニ町村制第二十四條ノ二、第二十四條ノ三及第二十六條ノ規定ハ開票分會ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

第二十一條 市制第八十二條第三項ノ市ハ其ノ區ヲ以テ選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ市制第二章第一款(第十六條第三項ノ規定ヲ除ク)及本令第二十二條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ市制第六條ノ市ト看做ス

第三章 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉ニ關スル特例

第二十二條 議員候補者ハ選舉人名簿(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿)ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ選舉立會人タルヘキ者一人ヲ定メ選舉ノ期日前二日目迄ニ市長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ届出ツルコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ届出アリタル者(議院候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出ニ係ル者ヲ除ク)十人ヲ超エサルトキハ直ニ其ノ者ヲ以テ選舉立會人トシ十人ヲ超ユルトキハ市長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ其ノ者ノ中ニ就キ抽籤ニ依リ選舉立會人十人ヲ定ムルヘシ

3 前項ノ抽籤ハ選舉ノ期日ノ前日之ヲ行フ第一項ノ届出ヲ爲シタル議員候補者ハ之ニ立會フコトヲ得

4 前項ノ抽籤ヲ行フヘキ場所及日時ハ市長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ於テ豫メ之ヲ告示スヘシ

市制町村制施行令 第三章

市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉ニ關スル特例

5 第二項ノ規定ニ依リ選舉立會人定マリタルトキハ市長（市制第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ直ニ之ヲ本人ニ通知スヘシ

6 議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出テタル選舉立會人ハ其ノ職ヲ失フ

7 第二項ノ規定ニ依ル選舉立會人三人ニ達セサルトキ若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ選舉立會人ニシテ參會スル者選舉會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ市長（市制第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ選舉人名簿（選舉區アルトキハ當該選舉區ノ選舉人名簿）ニ登錄セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ選舉立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ニ立會ハシムヘシ

8 前七項ノ規定ハ投票立會人及開票立會人ニ之ヲ準用ス 但シ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者トアルハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登錄セラレタル者トス

第二十三條 市制第二十五條第五項及第七項ノ規定中被選舉人トアルハ議員候補者トシ同規定ヲ適用ス

第二十四條 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決定スヘシ

2 市制第二十五條ノ三第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス 但シ投票分會長又ハ投票立會人トアルハ投票立會人トス

3 市制第二十五條ノ三第二項及第四項ノ投票ノ受理如何ハ市制第二十七條ノ二第二項

ノ規定ニ拘ラス選舉立會人又ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ開票分會長之ヲ決定スヘシ

第二十五條 市制第二十八條ノ規定中被選舉人トアルハ議員候補者トシ同規定ヲ適用ス

2 前項ノ規定ニ依ルノ外議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタル投票ハ之ヲ無効トス

第二十六條 投票ノ效力ハ選舉立會人又ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ開票分會長之ヲ決定スヘシ

第二十七條 市制第三十三條第一項ノ規定ハ同項第六號トシテ左ノ一號ヲ加ヘ之ヲ適用ス

六 府縣制第三十四條ノ二ノ規定ノ準用ニ依ル訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

第二十八條 市制第三十六條第一項ノ規定中選舉人トアルハ選舉人又ハ議員候補者トシ同規定ヲ適用ス

第四章 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉運動及其費用並ニ公立學校等ノ設備ノ使用

第二十九條 選舉事務所ハ議員候補者一人ニ付議員ノ定數（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數）ヲ以テ選舉人名簿（選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿）確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數一千以上ナルトキハ二箇所ヲ、一千未満ナルトキハ一箇所ヲ超ユルコトヲ得ス

2 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ市制第二十二條第四項ノ規定ニ依リ市制町村制施行令 第四章 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉運動及其費用並ニ公立學校等ノ設備ノ使用 一九五

市制町村制施行令 第四章 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員ノ選舉運動及其ノ費用並ニ公立學校等ノ設備ノ使用 一九六

投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉事務所ハ前項ノ規定ニ依ル數ヲ超エサル範圍内ニ於テ

府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ノ定メタル數ヲ超ユルコト得ス

3 府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ前二項ノ規定ニ依ル選舉事務所ノ數ヲ告示スヘシ

第三十條 選舉委員及選舉事務員ハ議員候補者一人ニ付議員ノ定數(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數)ヲ以テ選舉人名簿(選舉區アル場合ニ於テハ當該

選舉區ノ選舉人名簿)確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル

數一千以上ナルトキハ通シテ十五人ヲ、一千未満ナルトキハ通シテ十人ヲ超ユルコ

トヲ得ス

2 前條第二項及第三項ノ規定ハ選舉委員及選舉事務員ニ之ヲ準用ス

第三十一條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 議員ノ定數(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數)ヲ以テ選舉人名簿(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿)確定ノ日ニ於テ之ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額 但シ三百圓未満

ナルモノハ三百圓トス

二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ議員ノ定數(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ配當議員數)ヲ以テ選舉人名簿(選舉區アル場合ニ於テハ當該選舉區ノ選舉人名簿)確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

ハ之ヲ減額スルコトヲ得

2 府縣知事(東京府ニ於テハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第三十二條 衆議院議員選舉法施行令第八章、第九章及第十二章ノ規定ハ市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ之ヲ準用ス

第五章 市町村吏員ノ賠償責任及身元保證

第三十三條 市町村吏員其ノ管掌ニ屬スル現金、證券其ノ他ノ財產ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シタル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラザリシトキハ市町村ハ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

第三十四條 收入役、副收入役若ハ收入後代理者又ハ收入役ノ事務ヲ兼掌スル町村長若ハ助役市制第三百三十九條第二項又ハ町村制第十九條第二項ノ規定ニ違反シテ支出ヲ爲シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償セシムヘシ

第三十五條 市町村吏員其ノ執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢ニ因リテ

第三十六條 前三條ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願

市制町村制施行令 第五章 市町村吏員ノ賠償責任及身元保證 一九七

シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

2 前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市町村ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

3 府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

4 市制第六十條第一項乃至第三項又ハ町村制第四十條第一項乃至第三項ノ規定ハ

第一項及第二項ノ訴願及訴訟ニ之ヲ準用ス

第三十七條 賠償金ノ徴收ニ關シテハ市制第三百三十一條又ハ町村制第一百一條ノ例ニ

依ル

第三十八條 市町村吏員ニ對シテ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認ムルトキハ市町村

ハ其ノ種類、價格程度其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第三十九條 本章中市町村ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市ノ區及市制第四百四十四條ノ

市ノ一部及町村制第二百二十四條ノ町村ノ一部ニ之ヲ準用ス

第六章 市町村税ノ賦課徴收

第四十條 市町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ

對スル本税ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ附加税ヲ賦課セントスルトキハ市町村長ハ

關係市長又ハ町村長(町村長ニ準スヘキ者ヲ含ム)ト協議ノ上其ノ本税額ノ歩合ヲ定

ムヘシ

2 前項ノ協議調ハサルトキハ府縣知事之ヲ定メ其ノ數府縣ニ涉ルモノハ內務大臣及大

藏大臣之ヲ定ムヘシ

3 第一項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生スルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收

入ヲ共通スルモノト認メ前二項ノ規定ニ依リ本税額ノ歩合ヲ定ムヘシ

4 府縣ニ於テ數府縣ニ涉ル營業又ハ其ノ收入ニ對シ營業税附加税、營業收益税附加税

又ハ所得税附加税賦課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其ノ歩合ニ依ル本税額ヲ以

テ其ノ府縣ニ於ケル本税額ト看做ス

第四十一條 鑛區(砂鑛區域ヲ含ム以下之ニ同シ)カ市町村ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛

區税(砂鑛區税ヲ含ム)ノ附加税ヲ賦課セントスルトキハ鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ

依リ其ノ本税額ヲ分割シ其ノ一部ニ之ヲ賦課スヘシ

2 市町村ノ内外ニ於テ鑛業ニ關スル事務所其ノ他ノ營業所ヲ設ケタル場合ニ於テ鑛產

税ノ附加税ヲ賦課セントスルトキハ前條ノ例ニ依ル、鑛區カ營業所所在ノ市町村ノ

内外ニ涉ル場合亦同シ

第四十二條 住所滞在カ市町村ノ内外ニ涉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所

ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非サルモノニ對シ市町村税ヲ賦課セントスルトキ

ハ其ノ收入ヲ平分シ其ノ一部ニ之ヲ賦課スヘシ

2 前項ノ住所又ハ滞在カ其ノ時ヲ異ニシタルトキハ納税義務ノ發生シタル翌月ノ初メ

ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課スヘシ 但シ賦課後納税義務者ノ住所

又ハ滞在ニ異動ヲ生スルモ賦課額ハ變更セス其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル市町

村ニ於テハ賦課ナキ部分ニ之ヲ賦課スヘシ

3 住所滞在カ同一府縣内ノ市町村ノ内外ニ涉ル者其ノ住所又ハ滞在ノ時ヲ異ニシタル

場合ニ於テ其ノ者ニ對シ戸數割附加税ヲ賦課セントスルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 市町村税ヲ徴收セントスルトキハ市町村長ハ徵稅令書ヲ納稅人ニ交付スヘシ

第四十四條 徵稅令書ヲ受ケタル納稅人納期內ニ税金ヲ完納セサルトキハ市町村長ハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ

第四十五條 督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ一日ニ付稅金額ノ萬分ノ四以內ニ於テ市町村ノ定ムル割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ税金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數

ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徴收スヘシ 但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納

ニ付市町村長ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 令書一通ノ稅金額五圓未滿ナルトキ

二 納期ヲ繰上ケ徴收ヲ爲ストキ

三 納稅者ノ住所及居所カ帝國內ニ在ラサル爲又ハ共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法

ニ依リ納稅ノ命令又ハ督促ヲ爲シタルトキ

2 督促狀ノ指定期限迄ニ税金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ハ之ヲ徴收セス

第四十六條 納稅人左ノ場合ニ該當スルトキハ徵稅令書ヲ交付シタル市町村税ニ限り

納期前ト雖モ之ヲ徴收スルコトヲ得

一 國稅徵收法ニ依ル滞納處分ヲ受クルトキ

二 強制執行ヲ受クルトキ

三 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

四 競賣ノ開始アリタルトキ

五 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

六 納稅人脫稅又ハ逋稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ

第四十六條ノ二 相續人又ハ相續財團ハ被相續人ニ對シ相續開始前ノ事實ニ付賦課セ

ラルヘキ市町村税ヲ納ムル義務ヲ負フ 但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續

ノ開始アリタルトキハ被相續人モ亦之ヲ納ムル義務ヲ負フ

2 國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ依リテ得タル財産ヲ

限度トシテ前項ノ義務ヲ負フ

第四十七條 相續開始ノ場合ニ於テハ市町村税、督促手数料、延滞金及滞納處分費ハ

相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徴收スヘシ 但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相

續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徴收スルコトヲ得

2 國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ依リテ得タル財産ヲ

限度トシテ市町村税、督促手数料、延滞金及滞納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス

3 法人合併ノ場合ニ於テハ合併ニ因リ消滅シタル法人ノ納付スヘキ市町村税、督促手

數料、延滞金及滞納處分費ハ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ヨ

リ之ヲ徴收スヘシ

第四十八條 共有物、共同事業、共同事業ニ因リ生シタル物件又ハ共同行爲ニ係ル市

町村税、督促手数料、延滞金及滞納處分費ハ納稅者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス

第四十九條 同一年度ノ市町村税ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ

徴收スヘキ同一稅目ノ税金ニ充ツルコトヲ得

第五十條 納税義務者納税地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納税ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲納税管理人ヲ定メ市町村長ニ申告スヘシ其ノ納税管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五十一條 徵税令書、督促狀及滯納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ住所又ハ居所ニ滯達ス名宛人カ相續財團ニシテ財産管理人アルトキハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

2 納税管理人アルトキハ納税ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限り其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第五十二條 書類ノ送達ヲ受クヘキ者カ其ノ住所若ハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ其ノ者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサルトキ若ハ共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

第五十三條 市町村ハ内務大臣及大藏大臣ノ指定シタル市町村税ニ付テハ其ノ徴收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ之ヲ徴收セシムルコトヲ得

2 前項ノ市町村税ノ徴收ニ付テハ第四十三條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五十四條 前條第一項ノ規定ニ依リ市町村税ヲ徴收セシムル場合ニ於テハ納税人ハ其ノ税金ヲ徴收義務者ニ拂込ムル依リテ納税ノ義務ヲ了ス

第五十五條 第五十三條第一項ノ規定ニ依ル徴收義務者ハ徴收スヘキ市町村税ヲ市町村長ノ指定シタル期日迄ニ市町村ニ拂込ムヘシ、其ノ期日迄ニ拂込マサルトキハ市

町村長ハ相當ノ期限ヲ指定シ督促狀ヲ發スヘシ

第五十六條 市町村ハ前條ノ徴收ノ費用トシ拂込金額ノ百分ノ四ヲ徴收義務者ニ交付スヘシ

第五十七條 第五十三條第一項ノ規定ニ依ル徴收義務者避クヘカラサル災害ニ依リ既

收ノ税金ヲ失ヒタルトキハ其ノ税金拂込義務ノ免除ヲ市町村長ニ申請スルコトヲ得

2 市町村長前項ノ申請ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付ス

ヘシ市參事會又ハ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ決定スヘシ

3 前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

4 第二項ノ決定ニ付テハ市町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

5 前二項ノ裁決ニ付テハ市町村長又ハ府縣知事ヨリモ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

6 府縣參事會訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三月以内ニ之ヲ裁決スヘシ

7 市制第六十條第一項乃至第三項又ハ町村制第四百十條第一項乃至第三項ノ規定ハ

第三項乃至第五項ノ訴願ニ之ヲ準用ス

8 第二項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第五十八條 第四十五條乃至第四十八條ノ規定ハ第五十三條第一項ノ規定ニ依リ市町村税ヲ徴收セシムル場合ノ拂込金ニ之ヲ準用ス

第七章 市町村ノ監督

第五十九條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 市町村會議員ノ定數増減ニ關スル條例（著シシク人口ノ増減アルタルニ因ル町村會議員ノ定數増減ニ關スル條例ヲ除ク）ヲ設ケ又ハ改正スルコト
 - 二 市會議員選舉區ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
 - 三 町村制第四十五條第三項ノ規定ニ依リ議長及其ノ代理者ヲ置クコトニ關スル條例ヲ設ケルコト
 - 四 名譽職市長又ハ市參與ヲ置クコトニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 第五十九條ノ二** 左ニ掲ケル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ 但シ第三號及第四號ニ掲ケル事件ニシテ傳染病豫防費又ハ急施ヲ要スル災害復舊工事費ニ充ツル爲借入ルル市町村債、府縣ノ基金又ハ教育資金ヨリ借入ル、市町村債及市町村ニ轉貸ノ爲主務大臣ノ許可ヲ得テ借入レタル府縣債ノ收入金ヨリ借入ル、市町村債ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 一 水道、電氣、瓦斯、鐵道、軌道及自動車竝ニ中央卸賣市場法ニ依ル市場ノ使用料ニ關スルコト
 - 二 特別稅段別割ヲ除クノ外特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト
 - 三 小學校舍ノ建築、増築、改築其ノ他小學校設備ノ費用ニ充ツル爲借入ル、市町村債ニシテ据置期間ヲ通シ償還期限十年度ヲ超ユルモノニ關スルコト
 - 四 前號ニ掲ケル費用ニ充ツル爲借入ル、市町村債ヲ除クノ外据置期間ヲ通シ償還期限二年度ヲ超ユル市町村債及借入金ヲ以テ償還スル市町村債ニ關スルコト

◎特別稅ノ別途課稅（明治二七、八、二二、内一第一三三四號通牒）

訓令 通牒

市町村特別稅條例又ハ議決ノ許可ヲ受ケタル同稅目ニ於テ別途ニ課稅ヲ要スルモノハ左ノ區分ニ依リ稟請セラレ度尤モ條例及議決書ニハ例ヘ山林原野ノ稅率ハ田畑宅地稅率ノ十分ノ一ヲ超過スルヲ得スト云フ如キ若ハ毎年ノ徵收額ハ許可濟ノ稅率以內ニ於テ各地目均一ニ賦課スヘキ趣旨ヲ規定セル方可然ト存候

特別稅增額ノ例

- 一、許可濟ノ田畑宅地山林原野反別割賦課ノ區域內ニ於テ各地目又ハ幾地目ニ對シ反別割ヲ增額スルノ類

特別稅變更ノ例

- 一、許可濟ノ反別割賦課ノ區域外ニ於テ更ニ反別割ヲ賦課スルノ類
- 一、許可濟ノ田畑宅地反別割ノ外更ニ山林原野ノ反別割ヲ賦課スルノ類
- 一、許可濟ノ田畑宅地山林原野反別割ノ內幾地目ノミチ減額シ又ハ各地目歩合ヲ異ニシ減額スルノ類
- 一、許可濟ノ田反別割ヲ變シテ田地價割トナスノ類

第六十條

- 左ニ掲ケル事件ハ監督官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス
- 一 耕地整理又ハ區劃整理ノ爲市町村又ハ市制第六條ノ市、區ノ境界ヲ變更スルコト 但シ關係アル市町村會又ハ區會ニ於テ意見ヲ異ニスルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 二 所屬未定地ヲ市町村又ハ市制第六條ノ市區ノ區域ニ編入スルコト 但シ關係アル市町村會又ハ區會ニ於テ意見ヲ異ニスルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 三 公告式、印鑑、書類送達、諸證明、市町村ノ一部ノ區會又ハ區總會ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

- 四 公會堂、公園、水族館、動物園、植物園、鑛泉、浴場、共同宿泊所、消毒所、産婆、袍衣及産穢物焼却場、幼兒哺育場、商品陳列所、勸業館、農業倉庫、殺蝮乾燥場、種畜、牛馬種付所、斃獸解剖場、獸醫上屋、荷揚場、貯木場、土砂採取場、石材採取場、農具ノ管理及使用並使用料ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 五 手数料、加入金、延滞金及積立金穀等ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 六 府縣費ノ全部ノ分賦ヲ受クル市ニ於テ特別税、特別地稅又ハ大正十五年勅令第百三十九號第十七條第一項ニ掲ケル種類ト同種類ノ特別税ノ賦課ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト 但シ特別税、特別地稅ニ付テハ大正十五年勅令第百四十三號ニ依リ府縣知事ニ於テ許可スル課税ノ限度ヲ超ユルモノ及新ニ漁業ニ對シ特別税ヲ賦課シ又ハ其ノ賦課率若ハ賦課方法ヲ變更スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 七 特別税戸數割ヲ新設シ又ハ變更スルコト及之ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改正スルコト
- 八 使用料、特別税又ハ委員ニ關スル條例ヲ廢止スルコト
- 九 三年度ヲ超エサル繼續費ヲ定メ又ハ其ノ年期限内ニ於テ之ヲ變更スルコト
- 十 繼續費ヲ減額スルコト
- 十一 市町村債ノ借入額ヲ減少シ又ハ利息ノ定率ヲ低減スルコト
- 十二 市町村債ノ借入先ヲ變更シ又ハ債券發行ノ方法ニ依ル市町村債ヲ其ノ他ノ方法ニ依ル市町村債ニ變更スルコト
- 十三 市町村債ノ償還年限ヲ短縮シ又ハ其ノ償還年限ヲ延長セスシテ低利借替ヲ爲シ若ハ繰上償還ヲ爲スコト 但シ外資ニ依リタル市町村債ノ借替又ハ外資ヲ以テスル借替ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 十四 市町村債ノ償還年限ヲ延長セスシテ不均等償還ヲ元利均等償還ニ變更シ又ハ年度内ノ償還期若ハ償還期數ヲ變更スルコト
- 十五 市町村債ニ關スル條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

第八章 市制第六條ノ市ノ區

- 第六十一條 府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ市條例ヲ設定シ新ニ區會ヲ設クルコトヲ得
- 第六十二條 區内ニ住所ヲ有スル市公民ハ總テ區會議員ノ選舉權ヲ有ス 但シ公民權停止中ノ者又ハ市制第十一條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 第六十三條 區會議員ノ選舉權ヲ有スル市公民ハ區會議員ノ被選舉權ヲ有ス
- 2 在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス
- 3 選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス
- 4 市ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ所屬區ノ區會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス
- 第六十四條 區會議員ハ市ノ名譽職トス
- 2 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

- 3 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ム但シ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ
 - 4 前項但書ノ場合ニ於テ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付區長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ關員ハ最モ先ニ關員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ關員ト爲リタル時同シキトキハ區長抽籤シテ之ヲ定ム
 - 5 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス
- 第六十五條** 區會ノ組織及區會議員ノ選舉ニ關シテハ前數條ニ定ムルモノ、外市制第十三條第十七條及第二十條乃至第三十九條並ニ本令第七條乃至第二十條ノ規定ヲ準用ス。但シ市制第十三條第四項ノ規定ノ準用ニ依ル市條例ノ設定ニ付テハ市ハ區會ノ意見ヲ徵スヘク、市制第三十二條及第三十四條ノ規定ノ準用ニ依ル報告ハ市長ヲ經テ之ヲ爲スヘシ
- 第六十六條** 第三章及第四章ノ規定ハ市制第三十九條ノ二ノ區ノ區會議員選舉ニ之ヲ準用ス
- 第六十七條** 區會ノ職務權限ニ關シテハ市會ノ職務權限ニ關スル規定ヲ準用ス
- 2 區長ト區會トノ關係ニ付テハ市長ト市會トノ關係ニ關スル規定及市制第九十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第六十八條** 區會ヲ設ケサル區ニ於テハ區會ノ職務ハ市會之ヲ行フ

第六十九條 市ハ區會ノ意見ヲ徵シ區ノ營造物ニ關シ市條例又ハ市規則ヲ設クルコトヲ得

2 市制第二百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

3 區ハ前二項ノ市條例ノ定ムル所ニ依リ區ノ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ過料ヲ科スルコトヲ得

第七十條 區ハ其ノ財産及營造物ニ關シ必要ナル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

2 前項ノ支出ハ區ノ財産ヨリ生スル收入、使用料其ノ他法令ニ依リ區ニ屬スル收入ヲ以テ之ニ充テ仍不足アルトキハ市ハ其ノ區ニ於テ特ニ賦課徵收スル市稅ヲ以テ之ニ充ツヘシ

3 前項ノ市稅ニ付市會ノ議決スヘキ事項ハ區會之ヲ議決ス但シ市ノ定メタル制限ヲ超ユルコトヲ得ス

4 市制第九十八條第四項ノ規定ニ依リ市ノ負擔スル費用ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第七十一條 前數條ニ定ムルモノ、外區ニ關シテハ市制第一百四條、第一百五條、第一百三十條第二項乃至第六項、第一百三十一條第一項、第二項、第四項、乃至第八項及第一百三十三條乃至第四百三十三條並ニ本令第一條乃至第四條ノ規定ヲ準用ス。但シ第三百三十條第三項中市參事會トアルハ區會、第四百一十一條第二項中名譽職參事會員トアルハ區會議員トス

2 前項ノ規定ニ依リ市制第三百三十一條第一項ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ市ハ區會

ノ意見ヲ徵シ市條例ヲ定メ區ヲシテ手数料ヲ徵收セシムルコトヲ得

第七十二條 區ノ監督ニ付テハ市ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章 雜 則

第七十三條 市町村組合又ハ町村組合ニ關シテハ第一條乃至第四條ノ規定ニ拘ラス組合規約ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七十四條 本令中府縣、府縣知事又府縣參事會ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各北海道、北海道廳長官又ハ北海道參事會ニ、本令第一章中町村長又ハ町村條例ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ各町村長又ハ町村條例ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

2 北海道二級町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ新ニ市ノ區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市ノ市長之ヲ調製スベシ

3 前項ノ選舉人名簿ニ關シ市制第二十一條乃至第二十一條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキ北海道廳長官ニ於テ其ノ期日又ハ期間ヲ定ムベシ但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

4 前項ノ規定ニ依リ期日又ハ期間ヲ定メタルトキハ北海道廳長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

5 市ノ區域ノ境界ニ涉リ北海道二級町村ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テハ市長ハ其ノ市ニ於ケル選舉人名簿中新ニ町村ノ區域ニ屬シタル地域ニ係ル部分ヲ抹消スベシ

附 則

1 本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

2 左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

明治四十四年勅令第二百四十號

明治四十四年勅令第二百四十一號

明治四十四年勅令第二百四十四號

明治四十四年勅令第二百四十五號

明治四十四年勅令第二百四十八號

大正九年勅令第六十八號

大正十年勅令第四百十二號

3 従前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

4 大正十年勅令第四百十二號第二條ノ規定ニ依リ爲シタル許可ノ申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可ヲ得サルモノハ之ヲ本令第五十九條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス

5 大正十五年市制中改正法律又ハ同年町村制中改正法律中選舉ニ關スル規定ノ施行セラレタル市町村及未タ施行セラレサル市町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ右選舉ニ關スル規定ノ施行セラレサリシ市町村ノ

區域ニ屬シタル地域ニ關シ必要ナル選舉人名簿ハ其ノ地域ノ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長之ヲ調製スヘシ、此ノ場合ニ於テハ大正十五年市制中改正法律附則第二項又ハ同年町村制中改正法律附則第四項ノ例ニ依ル

6 明治四十四年勅令第二百四十五號第四條又ハ大正九年勅令第六十八號第四條ノ規定ニ依リ爲シタル決定又ハ裁決ニ對スル訴願又ハ訴訟ノ提起期間ハ決定又ハ裁決アリタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

7 從前市町村長ニ爲シタル申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ市參事會又ハ町村會ノ決定ニ付セラレサルモノニ付テハ第五十七條第二項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

8 從前市參事會若ハ町村會ノ決定ニ付セラレタル申請又ハ府縣參事會ニ於テ受理シタル訴願ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ決定又ハ裁決ナキモノニ付テハ第三十六條第三項並ニ第五十七條第二項及第六項ノ期間ハ同年七月一日ヨリ之ヲ起算ス

9 本令ニ依リ初メテ區會議員ヲ選舉スル場合ニ於テ必要ナル選舉人名簿ニ關シ市制第二十一條乃至第二十一條ノ五ノ規定ノ準用ニ依ル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム 但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

10 本令中公民權及議員選舉ニ關スル規定施行ノ際大正十五年府縣制中改正法律中議員選舉ニ關スル規定若ハ同年市制中改正法律中公民權及議員選舉ニ關スル規定又ハ同年勅令第三號衆議院議員選舉法施行令未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本令ノ適用

ニ付テハ同規定又ハ同令ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

附 則 (昭和二年三月三十一日勅令第三十八號)

本令ハ昭和二年度分ヨリ之ヲ適用ス

附 則 (昭和三年十一月勅令第二百六十號)

1 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

2 昭和二年勅令第二百六十九號北海道一級町村制中公民權及議員選舉ニ關スル規定ノ未ダ施行セラレザル一級町村ノ區域ノ境界ニ涉リ市ノ設置又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ其ノ異動アリタル地域ニ係ル市會議員選舉人名簿ニ付テハ第七十四條第二項乃至第五項ノ例ニ依ル

附 則 (昭和四年六月勅令第八十六號)

本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

市制町村制施行規則

(大正十五年六月廿四日)改(昭和三年十一月內務省令第三十九號)四年一月同第一號同年六月同第廿二號

第一章 市町村會議員ノ選舉

第一條 市制町村制ニ規定セル市區町村ノ人口ハ內閣ニ於テ官報ヲ以テ公示シタル最近ノ人口ニ依ル

2 前項公示ノ人口現在ノ日以後ニ於テ市區町村ノ廢置分合、境界變更ヲ爲シ又ハ所屬未定地ヲ市區町村ノ區域ニ編入シタルトキハ關係市區町村ノ人口ハ左ノ區別ニ依リ府縣知事ノ告示シタル人口ニ依ル 但シ市區町村ノ境界變更又ハ所屬未定地編入ノ地域ニ現住者ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 一市區町村若ハ數市區町村ノ全部ノ區域ヲ以テ一市區町村ヲ置キタル場合又ハ一市區町村若ハ數市區町村ノ全部ノ區域ヲ他ノ市區町村ノ區域ニ編入シタル場合ニ於テハ關係市區町村ノ人口又ハ之ヲ集計シタルモノ
- 二 前號以外ノ場合ニ於テハ當該市區町村ノ人口ヲ廢置分合又ハ境界變更アリタル日ノ現在ニ依リ府縣知事ノ調査シタル人口ニ按分シテ算出シタル當該地域ノ人口又ハ其ノ人口ヲ集計シタルモノ又ハ其ノ人口ヲ關係市區町村ノ人口ニ加算シ若ハ關係市區町村ノ人口ヨリ控除シタルモノ
- 三 所屬未定地ヲ市區町村ニ編入シタルトキハ編入ノ日ノ現在ニ依リ府縣知事ノ調査シタル其ノ地域ノ人口ヲ關係市區町村ノ人口ニ加算シタルモノ
- 四 前三號ノ規定ニ依ル人口ノ告示アリタル日以後ニ於テ市區町村ノ廢置分合若ハ

境界變更又ハ所屬未定地編入前ノ日ニ屬スル最近ノ人口ヲ內閣ニ於テ官報ヲ以テ公示アリタルトキハ更ニ其ノ公示ニ係ル人口ヲ基礎トシ前三號ノ規定ニ依リ算出シタルモノ

3 前項ノ規定ハ市區町村ノ境界確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

4 前三項ノ人口中ニハ部隊艦船及監獄内ニ在リタル人員ヲ含マス

第二條 市町村長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)投票立會人(又ハ開票立會人)ヲ選任シタルトキハ直ニ之ヲ投票分會長(又ハ開票分會長)ニ通知スヘシ

第三條 市町村長(市制第六條ノ市ニ於テハ區長)必要アリト認ムルトキハ選舉會場入場券(又ハ投票分會場入場券)ヲ交付スルコトヲ得

2 選舉長(又ハ投票分會長)必要アリト認ムルトキハ到着番號札ヲ選舉人ニ交付スルコトヲ得

第四條 投票記載ノ場所ハ選舉人ノ投票ヲ覗ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハザラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第五條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設クヘシ

第六條 選舉長(又ハ投票分會長)ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ選舉會場(又ハ投票分會場)ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後內蓋ヲ鎖スヘシ

第七條 選舉長(又ハ投票分會長)ハ選舉立會人(又ハ投票立會人)ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿(又ハ選舉人名簿ノ抄本)ニ對照シタル後投票用紙(假ニ投票ヲ爲サシ

ムヘキ選舉人ニ對シテハ併セテ封筒)ヲ交付スヘシ

第八條 選舉人誤リテ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第九條 投票ハ選舉長(又ハ投票分會長)及選舉立會人(又ハ投票立會人)ノ面前ニ於テ選舉人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十條 選舉人投票前選舉會場(又ハ投票分會場)外ニ退出シ又ハ退出ヲ命セラレタトキハ選舉長(又ハ投票分會長)ハ投票用紙(交付シタル封筒アルトキハ併セテ封筒)ヲ返付セシムヘシ

第十一條 投票ヲ終リタルトキハ選舉長(又ハ投票分會長)ハ投票函ノ內蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ內蓋ノ鑰ハ選舉立會人(投票分會長)ニ於テハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人)之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ保管スヘシ

第十二條 投票函ハ其ノ閉鎖後選舉長(又ハ開票分會長)ニ送致ノ爲ノ外之ヲ會場外ニ搬出スルコトヲ得ス

第十三條 投票ヲ點檢スルトキハ選舉長ハ選舉會ノ事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一被選舉人(市制第二十九條ノ一ノ市ニ於テハ議員候補者以下之ニ同シ)ノ得票數ヲ計算セシムヘシ

第十四條 前條ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀スヘシ

第十五條 前二條ノ規定ハ開票分會ヲ設ケタル場合ニ於ケル開票ニ之ヲ準用ス

2 開票分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ選舉長ハ自ラ開票ヲ行ヒタル部分ニ付各被選舉人

ノ得票數ヲ朗讀シタル後開票分會毎ニ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各被選舉人ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第十六條 選舉長(又ハ開票分會長)ハ投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ二人以上ノ選舉立會人(又ハ開票立會人)ト共ニ封印ヲ施スヘシ

2 受理スヘカラスト決定シタル投票ハ其ノ封筒ヲ開披セス前項ノ例ニ依リ封印ヲ施スヘシ

第十七條 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ付テハ府縣制施行規則第五條第七條乃至第九條及第二十二條ノ規定ヲ準用ス

第十八條 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ付開票分會ヲ設ケタルトキハ選舉長ハ豫メ議員候補者ノ氏名職業住所生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ當該開票分會長ニ通知スヘシ、議員候補者議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ又ハ其ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第十九條 點字投票ナル旨ノ印ハ投票用紙及封筒ノ表面ニ之ヲ押捺スヘシ

第二十條 市町村會議員選舉人名簿及其ノ抄本ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十一條 選舉錄、投票錄及開票錄ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十二條 市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ關スル立會人タルベキ者ノ届出書及之ニ添附スヘキ承諾書議員候補者ノ届出書又ハ推薦届出書議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出書並ニ選舉運動ノ費用ノ精算届書ハ府縣制施行規則別記ニ定ムル様式ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第二章 市町村吏員ノ事務引繼

第二十三條 市町村長更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ、後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ之ヲ助役ニ引繼クヘシ、此ノ場合ニ於テハ助役ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼クヘシ

2 前項引繼ノ場合ニ於テハ書類帳簿及財産ノ目錄ヲ調製シ處分未濟若ハ未著手又ハ將來企畫スヘキ見込ノ事項ニ付テハ其ノ順序方法及意見ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十四條 助役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ市町村長ニ引繼クヘシ

2 前條ノ規定ハ前項ノ事務引繼ニ之ヲ準用ス

第二十五條 收入役更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ、後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ之ヲ副

收入役又ハ收入役代理者ニ引繼クヘシ、此ノ場合ニ於テハ副收入役又ハ收入役代理者ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ之ヲ後任者ニ引繼クヘシ

2 前項引繼ノ場合ニ於テハ現金書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付テハ各目錄ヲ調製シ仍現金ニ付テハ各帳簿ニ對照シタル明細書ヲ添附シ帳簿ニ付テハ事務引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ次ニ合計高及年月日ヲ記入シ且引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者之ニ連署スヘシ

第二十六條 副收入役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ收入役ニ引繼ク

ヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ事務引繼ニ之ヲ準用ス

第二十七條 第二十三條第二項、第二十四條第二項、第二十五條第二項及前條第二項ノ規定ニ依リ調製スヘキ書類帳簿及財産ノ目錄ハ現ニ設備セル目錄又ハ臺帳ニ依リテ引繼ヲ爲ストキノ現在ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ之ヲ以テ充用スルコトヲ得、此ノ場合ニ於テハ其ノ旨引繼書ニ記載スヘシ

第二十八條 第二十三條又ハ第二十五條乃至前條ノ規定ハ市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長若ハ區收入役ノ更迭又ハ分掌事務アル區副收入役ノ退職ノ場合ニ

第二十九條 市町村ノ廢置分合ニ依リ新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ前市町村ノ吏員ノ擔任スル事務ハ之ヲ市町村長收入役又ハ市町村長ノ臨時代理者若ハ職務管掌ノ官吏ニ引繼クヘシ、市町村ノ境界變更アリタルトキ亦同シ

2 第二十三條乃至第二十七條ノ規定ハ前項ノ事務引繼ニ之ヲ準用ス

第三十條 第二十三條乃至前條ノ場合ニ於テ所定ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ具シ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第三十一條 第二十三條乃至第二十九條ノ場合ニ於テ引繼ヲ拒ミタル者ニ對シテハ府縣知事ハ二十五圓以下ノ過料ヲ科スコトヲ得、其ノ故ナク引繼ヲ遷延シタルカ爲市町村長ニ於テ期日ヲ指定シテ催告ヲ爲シ仍之ニ應セサル者ニ付亦同シ

第三十二條 第二十三條乃至前條ニ規定スルモノ、外市町村吏員ノ事務引繼ニ關シ必

要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

第二章 市町村ノ財務

第三十三條 市町村稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第三十四條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三十五條 歲入ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度
- 二 定期ニ賦課スルコトヲ得サルカ爲特ニ納期ヲ定メタル收入又ハ隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ令書又ハ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 三 隨時ノ收入ニシテ徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但シ市町村債、交付金、補助金、寄附金、請負金、償還金其ノ他之ニ類スル收入ニシテ其ノ收入ヲ豫算シタル年度ノ出納閉鎖前ニ領收シタルモノハ其ノ豫算ノ屬スル年度

第三十六條 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

- 二 通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度 但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
 - 三 市町村債ノ元利金ニシテ支拂期日ノ定メアルモノハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度
 - 四 補助金、寄附金、負擔金ノ類ハ其ノ支拂ヲ豫算シタル年度
 - 五 缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
 - 六 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 第三十七條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ 但シ市町村條例ノ規定又ハ市町村會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セス之カ支出ヲ爲スコトヲ得
- 第三十八條 市町村稅ハ徵稅令書ニ依リ夫役現品ハ賦課令書ニ依リ負擔金、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金及物件ノ賃貸料ノ類ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收シ其ノ他ノ收入ハ納付書ニ依リ收入スヘシ 但シ市制町村制施行令第五十三條ノ規定ニ依リ徵收スル市町村稅及急迫ノ場合ニ賦課スル夫役並ニ納額告知書又ハ納付書ニ依リ難キモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第三十九條 支出ハ債主ニ對スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 第四十條 左ノ經費ニ付テハ市町村吏員ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該吏員ニ前渡スルコトヲ得
- 一 市町村債ノ元利支拂
 - 二 外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲必要ナル經費

三 市町村外遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

- 2 特別ノ必要アルトキハ前項ノ資金前渡ハ市町村吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 第四十一條 旅費及訴訟費用ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得
- 第四十二條 前二條ニ掲クルモノ、外必要アルトキハ市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ資金前渡又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得
- 第四十三條 前金支拂ニ非サレハ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難キモノニ付テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第四十四條 歲入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フヘシ
- 2 歲出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額、資金前渡、概算拂、前金拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スヘシ
- 第四十五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ前條ノ拂戻金戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ
- 第四十六條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スル事ヲ得
- 第四十七條 歲入歲出豫算ハ必要アルトキハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ別ツヘシ
- 2 歲入歲出豫算ハ之ヲ款項ニ區分スヘシ
- 第四十八條 歲入歲出豫算ニハ豫算説明ヲ附スヘシ
- 第四十九條 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スヘシ
- 第五十條 市町村歲入歲出豫算ハ別記市町村歲入歲出豫算様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五十一條 繼續費ノ年期及支出方法ハ別記繼續費ノ年期及支出方法様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五十二條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス

2 豫算各項ノ金額ハ市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第五十四條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ

附スヘシ

第五十五條 會計年度經過後ニ至リ歲入ヲ以テ歲出ニ充ツルニ足ラサルトキハ府縣知事ノ許可ヲ得テ翌年度ノ歲入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第五十六條 市ハ其ノ歲入歲出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金ノ法ニ依ルコトヲ得

第五十七條 市町村ハ現金ノ出納及保管ノ爲市町村金庫ヲ置クコトヲ得

第五十八條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ市町村會ノ議決ヲ經テ市町村長之ヲ定ム

第五十九條 金庫ハ收入役ノ通知アルニ非サレハ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

第六十條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付市町村ニ對シテ責任ヲ有ス

第六十一條 市町村ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ヨリ擔保ヲ徵スヘシ、其ノ種類、價格及程度ニ關シテハ市町村會ノ議決ヲ經テ市町村長之ヲ定ム

第六十二條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ノ保管スル現金ハ市町村ノ歲入歲出ニ屬スルモ

ノニ限り支出ニ妨ケナキ限度ニ於テ市町村ハ其ノ運用ヲ許スコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ市町村ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ市町村ニ納付スヘシ

第六十三條 收入役ハ定期及臨時ニ金庫ノ現金帳簿ヲ檢查スヘシ

第六十四條 市町村ハ收入役ヲシテ其ノ保管ニ屬スル市町村歲計現金ヲ郵便官署又ハ銀行若ハ信用組合ニ預入セシムルコトヲ得

2 前項ノ銀行及信用組合ニ付テハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六十五條 第三十三條乃至前條ニ規定スルモノ、外市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第六十六條 第三十三條乃至第五十五條及前條ノ規定ハ市町村ノ一部ニ之ヲ準用ス

第四章 市制第六條ノ市ノ區

第六十七條 第二條乃至第十六條及第十九條乃至第二十一條ノ規定ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區會議員選舉ニ、第十七條第十八條及第二十二條ノ規定ハ市制第三十九條ノ二ノ區ノ區會議員選舉ニ之ヲ準用ス

第六十八條 第三十三條乃至第六十五條ノ規定ハ市制第六條ノ市ノ區ニ之ヲ準用ス

附 則

1 本令中議員選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ、財務ニ關スル規定ハ大正十六年度分ヨリ、其ノ他ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

2 左ノ内務省令ハ之ヲ廢止ス

明治四十四年內務省令第十五號

明治四十四年內務省令第十七號

大正元年內務省令第十八號

大正三年內務省令第九號

- 3 従前ノ規定ニ依ル手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス
- 4 従前ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル許可ノ申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可ヲ得サルモノハ之ヲ新規定ニ依リ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス
- 5 本令中議員選舉ニ關スル規定施行ノ際府縣制施行規則中議員選舉ニ關スル規定未タ施行セラレサル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ同規定ハ既ニ施行セラレタルモノト看做ス

附 則 (昭和三年十一月一日內務省令第三十九號)

本令ハ公布日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和四年六月十九日內務省令第二十二號)

本令ハ昭和四年七月一ヨリ之ヲ施行ス

附 錄

市制町村制施行令第五十九條及第六十條ノ規定ニ依ル
事務取扱方ニ關スル件(大正一五、八、一)
(八、訓令第八八號)

第一條

條例又ハ議決ニシテ許可ヲ受クヘキ事項ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、不要許可ノ事項ト知事ノ許可ヲ受クヘキ事項ト併セテ定ムル場合ハ知事ノ許可ヲ受クヘキモノトス

二、知事ニ委任ノ事項ト主務大臣ノ許可ヲ受クヘキ事項ト併セテ定ムル場合ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘキモノトス

第二條 市町村起債ニ付テハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一、起債ニ關スル議決又ハ條例ニハ起債ノ目的、起債額、利率、借入先、借入ノ時期、据置期間及償還財源ヲ記載スルノ外財政ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ、償還年限ヲ短縮シ又ハ低利

ニ借替ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ定メ且償還年次表ヲ添附スルコト起債許可申請ノ場合亦同シ

二、起債額ニ百圓未満ノ端數ヲ附セサルコト

三、借入年度ノ歲入ヲ以テ償還ヲ爲ス分ヲ起債額ニ加ヘサルコト

四、借入ノ年度ニ於テ償還スヘキモノ及舊債利子ノ支拂額ヲ借替額ニ加ヘサルコト

第三條 市町村長ハ市制町村制施行令第六十條第九號乃至第十二號ノ處理ヲ爲シタルトキハ直ニ

其ノ議決書寫及償還年次表ヲ添ヘ其ノ旨左ノ區別ニ依リ報告スヘシ 但シ同條第十號ノ場合ニ於テハ償還年次表ノ添附ヲ要セス

一、其ノ起債ニシテ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ主務大臣

二、其ノ起債ニシテ知事ノ許可ヲ受ケタルモノニ付テハ知事

○大正十年滋賀縣訓令第六十二號ハ之ヲ廢止ス

市制町村制施行令第五十九條及第六十條ノ規定ニ依ル事務取扱方ニ關スル件 二二七

市町村吏員事務引繼規程

(大正一五、八、一) 訓令第八七號

- 第一條 市町村吏員ノ事務引繼ハ大正十五年內務省令第十九號ニ依ルノ外本規程ニ依ルヘシ
- 第二條 事務ノ引繼ヲ爲サムトスルトキハ市町村長日時ヲ定メ少クトモ五日前知事ニ報告スヘシ
前項ノ期日ニ拘ハラズ知事ハ其ノ期日ヲ指定スルコトヲ得
- 第三條 事務引繼ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得サル爲知事ノ許可ヲ受クル場合ハ更ニ其ノ引繼期間ヲ定メテ申請スヘシ
- 第四條 市町村長ハ收入役及分掌事務アル副收入役又ハ收入役代理者ノ事務引繼ニ立會フヘシ
- 第五條 知事ハ官吏ヲ派遣シテ事務引繼ニ立會ハシムルコトアルヘシ
- 第六條 事務引繼ハ吏員退職ノ日ノ現在ニ依ルヘシ一時引繼ヲ受ケタル者ヨリ後任者ニ引繼ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ後任者就職ノ日ノ現在ニ依ルヘシ
- 第七條 市町村吏員事務引繼ニ關シ意見ヲ異ニスルトキハ各其ノ意見ヲ具シ知事ノ指揮ヲ請フヘシ
- 第八條 大正十五年內務省令第十九號ニ依リ調製スヘキ書類、帳簿、現金、財産又ハ物件ノ目錄現金明細書等ハ別記様式ニ依ルヘシ
處分未済若ハ未着手又ハ將來企劃スヘキ事務ニ付其ノ順序方法及意見ヲ記載スル場合ハ演述書トシテ調製スヘシ
- 第九條 前條第一項ニ依リ調製スヘキ書類、帳簿、財産又ハ物件等ノ目錄ハ現ニ設備セル目錄又ハ臺帳ニ依リ引繼ヲ爲ストキノ現在ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ之ヲ充用シ其ノ旨引繼書ニ記載スヘシ
- 第十條 市町村吏員死亡其ノ他ノ事故ニ因リ自ラ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ知事ニ於テ市町村吏員ニ命シテ其ノ事務ヲ調査セシメテ引繼ヲ爲サシム

- 第十一條 市町村吏員事務引繼ヲ了シタルトキハ市町村長ハ引繼書ノ謄本ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ
- 第十二條 事務引繼ノ期間内ニ引繼ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ期日ヲ指定シテ引繼ヲ催告スヘシ
- 第十三條 前條ノ催告ニ應セス又ハ引繼ヲ拒ミタル場合ニ於テハ市町村長ハ知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ
- 第十四條 水利組合ノ事務引繼ニ關シテハ本規程ヲ準用ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
市町村吏員事務引繼細則ハ之ヲ廢止ス
(別記様式)

(第一例)

引 繼 書

大正何年何月何日任期滿了(何々)ニ付別紙書類、帳簿及財産目録(現金目録、現金明細書)並演述書ニ依リ事務引繼候也

大正 年 月 日

元 職 氏 名 ㊦

右事務引繼相受候也

大正 年 月 日

職 氏 名 ㊦

(第二例)

市町村吏員事務引繼規程

市町村吏員事務引繼規程

書類、帳簿、目錄

- 一、土地臺帳
- 一、地租名寄帳
- 一、吏員名簿
- 一、議事例規
- 一、地圖
- 一、基本財産田小作證書
- 一、何々

何冊 何冊 何冊 何冊 何冊 何冊
 括通葉冊冊冊冊

(第三例) 財産目錄

其一
 財産中左記ノモノハ臺帳ニ登載ノ現在ヲ充用ス
 一、備品臺帳
 一、村基本財産臺帳
 一、學校基本財産臺帳
 一、村有財産臺帳

其二
 臺帳ノ設ケナキ市町村ニ在リテハ土地、建物、有價證券、現金又ハ備品等ニ区分シ左ノ例ニ倣ヒ之ヲ例記スヘシ

土地目錄

何冊 何冊 何冊 何冊

地番	地目	面積	用途
何所何番	田	二段五畝	大字何々何某ニ小作料何石ニテ小作セシム

備考 立木ニ付テモ本例ニ倣ヒ適宜目錄ヲ調製スヘシ

所在	種類	棟數及各建坪	用途
何所何番	木造平家建	一棟二十五坪 一棟十二坪	村役場廳舎ニ使用ス

備品目錄

品目	數量	用途
金庫	一	收入役用
椅子(革張)	三〇	議事堂ニ使用ス
唧筒	一	

有價證券、現金目錄

種別	券面、枚數又ハ通帳數	總額面又ハ現在高	備考
滋賀縣農工銀行債	五拾圓券 十枚	五百圓	某銀行保管領トス 某基本財産ニ屬スルモノ

市町村吏員事務引繼規程

五分利公債	百圓券 十枚	千	圓
特別五分利公債	百圓券 十枚	千	圓
合計			
郵便貯金	通帳 一	參百五拾圓	某基本財産ニ屬スルモノ
何々銀行預金	小口當座通帳一 定期預金證書一	七百五拾圓 貳千圓	同
合計			
現金		參百拾五圓	

(第四例)

演述書

處分未済事項

一、舊道路敷處分ノ件
 本村大字何々ヨリ大字何々ニ通スル里道改修ノ結果不用ニ歸シタル舊道路敷ハ國ヨリ無償讓與ヲ受クル見込ヲ以テ目下其筋ニ申請中ニ屬ス

未着手事項

一、造林ノ件
 本村基本財産造成ノ目的ヲ以テ大字何々有山林何町歩ニ地上權ヲ設定シ杉及扁柏ヲ植栽スル目的ヲ以テ豫算金何程村會ノ議決ヲ經タリ未タ着手スルニ至ラサレトモ本春其ノ豫定數ヲ植栽スル見込ナリ

將來企劃見込事項

一、小學校舎改築並増築ノ件
 何々尋常高等小學校舎ハ明治 年 月ノ建築ニシテ腐朽、破損ノ個所尠カラズ此ノ上修繕ノ見込ナキニヨリ改築ノ必要アリ且學齡兒童ノ増加ニ伴ヒ教室ノ増加ヲ要スルヲ以テ明年度ニ於テ教室一棟増築ノ見込ナリ然シテ是等ノ財源ハ一部ヲ有志者ノ寄附金ニ俟チ他ハ總テ縣教育資金借入レノ見込ナリ

(第五例)

現金目錄

現在高

一金 何程 村歲入出ニ屬スル分
 金 何程 何々基本財産ニ屬スル分
 金 何程 何々水利組合ニ屬スル分
 金 何程 國稅金ニ屬スル分
 金 何程 縣稅金ニ屬スル分
 以上

(第六例)

現金明細帳

一、村歳入出ニ屬スル分

現金	何程	現在高
内		
町	何程	町村入税
財	何程	財産收
使	何程	用及手
國	何程	稅徵收
縣	何程	補助金
寄	何程	附入金
雜	何程	收入
役	何程	會場費
會	何程	議場費
土	何程	木費
教	何程	育費
衛	何程	衛生費
勤	何程	助業費
補	何程	費
支	何程	入金高計
出	何程	
金	何程	

一、何々基本財産ニ屬スル分

現金	何程	現在高
内		
金	何程	繰入金
金	何程	繰入金
收	何程	入金高計
支	何程	入金高計
出	何程	有價證券買入費
金	何程	

組合ニ屬スル現金又ハ國縣稅ニ屬スル現金ニ付テモ本例ニ倣ヒ明細書ヲ調製スヘシ

市町村吏員ノ旅行又ハ忌服ニ關シ取扱方ノ件 (大正一五、七、一) (訓令第七六號)

第一條 市町村長ハ法律命令規定又ハ監督官廳ノ命ニ依ル場合及縣内五日縣外三日以内ノ旅行ヲ除クノ外職務ノ地ヲ離レムトスルトキハ其ノ事由、用務地及日限ヲ詳具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ但シ緊急ノ要務ニシテ認可ヲ受クルノ暇ナキトキハ事後ニ於テ具情追認ヲ受クヘシ

市町村助役、收入役及其ノ他ノ吏員ニシテ出張ヲ命セラレタル場合ヲ除クノ外職務ノ地ヲ離レムトスルトキハ第一項ニ準シ市町村長ノ認可ヲ受クヘシ但シ市町村長故障アルトキハ助役ノ旅行ニ付テハ第一項ノ例ニ依ル

第二條 市町村吏員ノ忌服ニ當リタルトキハ市町村長ハ知事ニ、其ノ他ノ吏員ハ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ除服ハ市町村助役收入役及其ノ他ノ吏員ニ付テハ市町村長之ヲ達スヘシ但シ市町村長故障アルトキハ助役ノ忌服及除服ニ付テハ市町村長ノ例ニ依ル

滋賀縣報告例 (昭和四、三、三〇)

訓令第一一號

滋賀縣報告例

報告例目及様式

報告例目
臨時報告

様式 番號	報告事項	調査期	報告期限	備考
市町村公報	市町村公報	發行ノ都度	即日	
	議員選舉ニ關スル告示其ノ他法令ノ規定ニ依リ發布スル告示	其ノ都度	同	
	市町村會、町村組合會、區會、水利組合會ノ招集及會議ノ事件告知	同	同	
	條例、規則及規約ノ發布	同	同	
	市町村會、町村組合會、區會、水利組合會ノ議決、決定、認定、選舉ノ結果	同	閉會後三日 以	
	市町村會、町村組合會、區會ニ提出シタル事務報告及財産表	同	同	
	市町村吏員ノ懲戒處分	同	即日	市制第八十九條、 町制第七十三條、 該當ノモノ
	監督官廳ノ指揮ニ依ラサル市町村會議決執行ノ停止及再議、再選舉ニ附シタル事件	同	同	

滋賀縣報告例

專決處分	市町村長、助役（分掌事務ヲ有スルモノニ限ル）收入役事務引繼ノ結果	同	同	市町村會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ市町村長、町村組合會、水利組合會、區會、水利組合會、町村組合會、區會、水利組合會ノ招集及會議ノ事件告知
二〇四	町村吏（市町村長、助役、收入役、員異動（入役、收入役代理）	同	即日	選舉錄謄本添附
	市町村會議員ノ選舉結果	同	同	主催町村長ヨリ報告（縣ヨリ招集シタルモノヲ除ク）
	町村長會、町村主任打合會ノ開會	同	期日前三日	同
	町村長會、町村主任打合會ノ結果	同	閉會後三日 以	同
	市役所、町村役場敷地ノ異動	同	即日	同
	公債ノ變更	同	同	市制町村制施行令 第六十條第九號乃 至第六十二號ニ該當 ノモノ償還年次當 添附スヘシ

滋賀縣報告例

二〇五	公債ノ募(縣基金資金ノ借入)集借入(ニ係ル分ハ除ク)	同	同
二〇六	公債ノ償還(同上)	同	同
二〇七	一時借入金ノ借入	同	同
二〇八	一時借入金ノ償還	同	同
二〇九	起債ニ依ル事業費精算	事業竣工ノ都度	同
—	臨時出納検査額末	検査當日	以検査後三日内
—	異常又ハ重要ト認ムル事項	其ノ都度	即日

定期報告

様式番號	報告事項	調査期	報告期限	備考
—	例月出納検査額末	毎検査當日	以検査後三日内	日計表添付スヘシ
一九三	市町村吏員其ノ一	一月一日	一月十日	
一九四	市町村吏員其ノ二	十二月末日	翌一月十五日	

滋賀縣報告例

一九五	衆議院議員選舉有權者數調 市町村會議員	衆議院議員、市町村會議員 十二月二十日 十二月廿五日	同
一九六	市町村吏員退隱料受領人員及金額	十二月末日	同
一九七	地方公共團體所有國債、地方債及社債表	同	同
一九八	水利組合員總數及戶數人口調	同	翌三月十五日
一九九	部落協議費調	同	翌五月卅一日
二〇〇	基本財産調	毎年三月末日	其五月卅一日
二〇一	市町村稅調其ノ一其ノ二其ノ三	每年度	翌六月三十日
二〇二	市町村稅徵收狀況	每三ヶ月	第一回其年七月十日 第二回其年十月十日 第三回其年一月十日 第四回其年四月十日
二〇三	選舉人名簿調製	毎年九月十五日	其年十一月五日

滋賀縣報告例

二四〇

様式

第二〇四表

報告期 即日
市町村吏員異動(市町村長、助役、收入役、收入役代理者)

職名	報酬給料	異動年月日	異動事由	住	所	位動氏名	生年月日

(注意)

- 一、市町村長、助役、收入役新任ノ場合ハ履歴書、用紙美濃紙形添附ヲ要ス
- 二、退職ノ場合ハ報酬、給料、住所、生年月日ノ欄ヲ除ク

第二〇五表

公債ノ募集

(借入)

報告期 即日

議決年月日 許可年月日	募集(借入) 年月日	債額	募入額 (借入額)	債額ニ對ス ル募入額(借入) 残額	債主	元金百圓 ニ對スル 利子年額	償還 期限	擔保 品種

(注意)

- 一、二人以上ノ債權者アル場合ニ於テハ各債務者ニ別記トスヘシ
- 二、公債ノ全額ヲ一時ニ借入ルル場合ノ外償還年次表ヲ添附スヘシ

第二〇六表

公債ノ償還

報告期 即日

議決年月日 許可年月日	債額	償還額	償還殘額	償還年月日

(注意)

- 一、二人以上ノ債權者アル場合ニ於テハ各債權者毎ニ別記スヘシ

報告期 即日

第二〇七表

一時借入金ノ借入

議決年月日	借入年月日	借入額	償還確定 年月日	借入事由	利率	借入先

第二〇八表

一時借入金ノ償還

報告期 即日

借入年月日	債額	償還年月日	償還額	未償還額	償還先

滋賀縣報告例

二四一

滋賀縣報告例

第二〇九表

起債ニ依ル事業費精算

報告期市町村事業竣工ノ都度
水利組合

區別	何々年度	財源	
		補助課税 其ノ他	借入額 同上年月日
當初豫算額		圓	圓
施行済額			
今後所要見込額			
當初豫算額ト施行済額及今後所要見込額トノ差額(△印減)			

(注意)

- 一、本表ハ一起債毎ニ別表トスヘシ
- 二、「當初豫算額」ト「施行済額」及「今後所要見込額」ノ合計ト著シキ差異アルモノニ付テハ其ノ事由ヲ詳記スヘシ
- 三、竣工シタル事業ノ概要ヲ記載スルコト若當初ノ事業計畫ト異ナルトキハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第一九三表

市町村吏員 其ノ一

報告期 其年一月十日限
昭和 年 月 日調

(用紙美濃野紙)

就職年月日	報酬給料額 円	事務分擔	職名	氏名	生年月日

(注意)

- 一、本表ハ市町村長、助役、收入役、書記、技術員其ノ他ノ吏員ニ就キ調査スルモノトス
 - 二、本表ハ名簿トシテ直ニ編綴保存スルモノナルヲ以テ楷書記載スヘシ
 - 三、本表ニハ異動ノ爲追記ヲ要スル場合アルヲ以テ相當餘白ヲ存シ置クヘシ
 - 四、收入役代理者ハ職名ノ左傍ニ「收入役代理者」ト掲記スヘシ
- 報告期 翌年一月十五日限
市町村吏員 其ノ二 昭和 年十二月末日調

第一九四表

市町村吏員 其ノ二

報告期 翌年一月十五日限

市町村長	助役	收入役	報酬給料額 円	
			有給職俸給	有給職俸給

滋賀縣報告例

副収入役									
書記									
常設委員									
區長									
區長代理者									
町村吏員	何々	何々							
計									
名譽職市參事會員									
合計									

(注意)

- 一、本表ハ市制町村制ニ依ル吏員及名譽職參事會員ヲ掲クルモノトス
- 二、本表中常設委員トシテ掲クヘキモノハ町村制第六十九條(學務委員ヲ含ム)ノ規定ニ依ル常設ノ委員トス
- 三、其ノ他ノ吏員ノ下何々トアルハ雇、技手等職名ノ異ナルモノヲ連記スヘシ

第一九五表

衆議院議員選舉有權者數

報告期 翌年一月十五日限

衆議院議員選舉有權者ハ毎年十二月二十日調
市町村會議員選舉有權者ハ毎年十二月廿五日調

衆議院議員選舉有權者	縱覽開始當時選舉人名簿ニ登録セラルタル者ノ總數	決定、裁決、判決	確定期日現在選舉人名簿ニ登録セラルタル者ノ總數	上欄ノ内選舉權ヲ有スル者ノ總數
市町村會議員選舉有權者	新ニ登録セラレタル者ノ數	削除セラレタル者ノ數	在選舉人名簿ニ登録セラルタル者ノ總數	

(注意)

第一九六表

市町村吏員退隱料受領人員及金額

昭和 年 月 日現在

市町村長	人員	金額	有給助役	人員	金額	收入役	人員	金額	書記	人員	金額	何々	人員	金額
------	----	----	------	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----

(注意)

均當	平均	最高	最低	賦課一戸當	賦課一戸當	賦課地域内戸數		賦課セサル地域内		計	他
						總戸數	平均	總戸數	平均		

二、協議費ヲ徵收セサル部落名
 三、協議費ヲ最モ多ク負擔スル者ノ住所氏名及其ノ負擔額

(注意)

一、本表ハ市町村ノ全部タルト一部タルト問ハス一定ノ地域内ニ於ケル住民ノ協議ニ依リ共同處理セル經濟ノ一會計年度(毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄)ノ事實ヲ掲クヘシ
 二、歳出額平均一戸當ハ協議費支出部落ノ總戸數ヲ以テ協議費總額ヲ除シテ算出スルモノトス
 三、費目ニ分割シ難キトキハ其ノ他ノ欄ニ計上シ備考ニ其ノ包含費目ヲ記入スヘシ

基本財産調
 其ノ一

報告期 其年五月三十一日限
 昭和 年三月末日現在

第二〇〇表

計	何々	育英資金	救済資金	基本財産	小學校	基本財産	市町村	所有區別								
								宅地	田地	畑	林	野	其ノ他	建物	立木	價格合計
								坪數價格	反別價格	反別價格	反別價格	反別價格	反別價格	坪數價格	價格	合計

其ノ二

基本	小	市	所有區別	有價證券					現金	穀物	其ノ他	價格合計
				書價	公債	證券	株券	債券				

市町村及其ノ他ノ公共團體巡視規程

(大正一五、七、二) 訓令第七九號

第二條 法令ノ實施及其ノ他一般行政、財政事務視察ノ爲本規程ニ依リ地方課勤務ノ地方事務官又ハ屬(以下單ニ地方事務官又ハ屬ト稱ス)ヲシテ市町村及其ノ他ノ公共團體ヲ巡視セシム

第三條 地方事務官又ハ屬巡視中違法又ハ不適當ナル事項ヲ發見シタルトキハ市町村長ニ注意ヲ求ムルコトヲ得

第四條 市役所、町村役場ニハ視察簿ヲ設備スヘシ
地方事務官又ハ屬巡視シタルトキハ視察簿ニ巡視ノ年月日、視察事項並整備又ハ注意ヲ要スル事項ヲ記載シ署名捺印スヘシ

第五條 巡視ヲ了リタルトキハ十日以内ニ視察ノ狀況ヲ記シ其ノ意見アルモノニ付テハ之ヲ附記シ知事ニ復命スヘシ
第六條 臨時必要アル場合ニ於テ第一條ニ掲グル官吏、以外ノ官吏吏員ヲシテ市町村及其ノ他ノ公共團體ヲ視察セシムルトキハ本規程ヲ準用ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
市町村巡視規程及町村及公共組合會計檢査規程ハ之ヲ廢止ス

町村長會規程

(大正一五、七、二八) 訓令第八三號

第一條 法令其ノ他ノ事項ノ周知徹底ヲ期シ事務ノ刷新ヲ圖ル爲本規程ニ依リ町村長會ヲ開ク
第二條 町村長會ニハ從來郡長ノ管轄シタル區域内ノ町村長ヲシテ會同セシム但シ時宜ニ依リ數

區域ノ町村長ヲシテ會同セシムルコトアルヘシ

第三條 町村長會ハ地方事務官又ハ其ノ他ノ官吏ヲシテ之ヲ總轄セシム
第四條 町村長會ニハ知事ヨリ訓示又ハ指示、注意並協議スヘキ事項ヲ提出ス
第五條 町村長ニ於テ町村長會ニ提出スヘキ事項アルトキハ豫メ知事ニ報告スヘシ
第五條 町村長會ハ每奇數月ニ之ヲ開ク但シ時宜ニ依リ開會ヲ爲サス又ハ臨時之ヲ開クコトアルヘシ

市町村印章規程

(明治四四、一二、二) 訓令第五三號

第一條 市役所及町村役場印ハ方一寸二分(曲尺トス以下亦同シ)トシ「滋賀縣何郡(市役所)何町(村)役場」ト彫刻スヘシ
第二條 市長ノ職印ハ方七分トシ「滋賀縣何市長之印」ト彫刻スヘシ
町村長、市參與、助役、收入役、副收入役及收入役代理者ノ職印ハ方六分トシ「滋賀縣何郡何町(村)長(市參與)市町村助役(收入役、副收入役、收入役代理者)之印」ト彫刻スヘシ
第二條ノ一 市町村長ハ徵稅傳令書、徵稅令書、納額報告書又ハ納付書ニ發付年月日及市町村長名ヲ記載シ、且其ノ名下ニ前條ノ印ヲ捺捺スルニ代ヘ甲號式ノ印章ヲ使用スルコトヲ得
收入役又ハ副收入役若ハ收入役代理者ハ領收證書ニ領收年月日及領收者名ヲ記載シ、且其ノ名下ニ前條ノ印ヲ捺捺スルニ代ヘ乙號式ノ印章ヲ使用スルコトヲ得

市町村並市町村吏員表彰規程

甲 號



楕圓形ニシテ縦直徑八分
中央ノ數字ハ發付年月日
ヲ示スモノナルニ依リ自
在ニ差換ヲ爲シ得ル仕組
ト爲スヘシ

乙 號



圓形ニシテ中央ノ數
字ハ領收年月日ヲ示
スモノナルニ依リ自
在ニ差換ヲ爲シ得ル
仕組ト爲スヘシ

二六〇

第三條 印章ニ彫刻スヘキ字體ハ楷書タルコトヲ要ス

附 則

第四條 本規程施行ノ際現ニ使用スル印章ハ改刻ヲ要スルトキニ至ル迄之ヲ使用スルコトヲ得
第五條 明治二十七年八月滋賀縣訓令第六十五號ハ之ヲ廢止ス

市町村並市町村吏員表彰規程 (大正一五、八、一八) 告示第二八四號

第一條 市町村並市町村吏員ニシテ成績良好他ノ模範トスルニ足ルヘキモノアルトキハ本規程ニ依リ知事之ヲ表彰ス

第二條 左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ表彰ス

- 一、市町村ニシテ事務克ク整ヒ事業克ク舉リ其ノ成績顯著ナルモノ
 - 二、市町村吏員ニシテ多年市町村事務ニ從事シ精勵衆ニ超エ克ク公共事業ノ改良發達ニ力ヲ致シ又ハ事務整理改善ヲ圖リ其ノ功顯著ナルモノ
- 第三條 市町村長ハ市町村吏員ニシテ表彰スルノ資格アリト認ムル者アルトキハ隨時之ヲ知事ニ具申スヘシ

第四條 表彰ノ方法ハ其ノ功績ヲ列敘シタル褒狀ヲ下付シ之ヲ縣公報ニ登載ス

市町村、町村組合並水利組合基本財産臺帳設備方ノ件

(大正九、四、一四、訓令第二七號)

市町村町村組合並水利組合ニ於テハ左記様式ノ基本財産臺帳ヲ設備シ其數量價格等ヲ明瞭ナラシムヘシ

(何) 町 (村)
(何) 町村組合 基 本 財 産 臺 帳
(何) 水利組合

何 市 役 所
何 町 (村) 役 場
何 水利組合

土 地

市町村町村組合並水利組合基本財産台帳設備方之件

二六一

市町村町村組合並水利組合基本子産台帳設備方之件

貸金

年月日	貸出		償還受		差引		備考
	貸先	利率	金額	収入先元金	利子	現在高	
			円	円	円	円	償還期限 年 日各年次償還額何程

穀物

穀物ノ種類	年月日	収入	費消	貸付	現在高		備考
					現穀高	貸付高	

粃、玄米、粟等各種毎ニ別紙トス

市町村町村組合並水利組合基本財産台帳設備方之件

市町村基本財産蓄積條例準則 (市制第九十九條第一項 參照)

第一條 本市(町)(村)ハ本條例ノ規定ニ依リ毎年度基本財産ヲ蓄積ス

第二條 左ノ收入ハ之ヲ蓄積ス

- 一、基本財産ヨリ生スル收入
 - 二、戶籍法及寄留手續令ニ依ル手数料
 - 三、本市(町)(村)條例ニ依ル手数料
 - 四、國稅徵收交付金
 - 五、縣稅徵收交付金
 - 六、不用品賣拂代
 - 七、歲計剩餘金(又ハ幾部)
 - (又ハ)前年度繰越金(又ハ幾部)
 - 八、費途指定ナキ寄附金
 - 九、其ノ他臨時收入
- 第三條 前條ノ外毎年度市(町)(村)費ヲ以テ金若干圓以上ヲ蓄積ス
- 第四條 左ノ場合ニ於テハ市(町)(村)會ノ議決ヲ經テ前二條ノ一部又ハ全部ノ蓄積ヲ停止スルコトヲ得
- 一、公債ヲ起シ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間
- 但シ市(町)(村)内一部ニ於テ負擔スヘキ費用ヲ支辨スル爲起債ヲ爲ス場合ハ此ノ

限ニ在ラス

- 二、基本財産ヲ繰入レ其ノ積戻ヲ了スル迄ノ間
 - 三、非常ナル災害ニ罹リタルトキ
 - 四、市(町)(村)内ノ一部ニ對スル賦課ヲ除クノ外地租、營業收益稅、特別地稅、家屋稅附加稅並特別稅段別割ノ課率カ法定制限率ノ一倍半ヲ超ユルトキ又ハ特別稅戶數割ノ總額カ當該年度ニ於ケル「町」村稅豫算總額ノ百分ノ七十ヲ超ユルトキ
- 但シ不均一ノ賦課ナルトキハ平均課率ニ付之ヲ適用ス
- 第五條 基本財産收支決算ノ要領及現在高ハ毎年度之ヲ公告ス

附 則

本條例ハ發布ノ日(何年度)ヨリ之ヲ施行ス

備考 從來條例ニ年限ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積スルモノニ在リテハ第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項各號ニ依リ基本財産ノ蓄積ヲ停止シタル場合ニ於テハ停止年數ニ應シ其ノ蓄積年數ヲ延長ス

市町村小學校基本財産蓄積條例準則

(市制第九十九條第二項 參照)

第一條 本市(町)(村)ハ本條例ノ規定ニ依リ毎年度小學校基本財産ヲ蓄積ス

第二條 左ノ收入ハ之ヲ蓄積ス

- 一、基本財産ヨリ生スル收入
 - 二、授業料
 - 三、學校不用品賣却代
 - 四、經常部教育費歳計剩餘金
 - 五、費途指定ナキ教育費寄附金
- 第三條 前條ノ外毎年度市(町)(村)税ヲ以テ金若干圓ヲ蓄積ス
- 第四條 左ノ場合ニ於テハ市(町)(村)會ノ議決ヲ經テ前二條ノ一部又ハ全部ノ蓄積ヲ停止スルコトヲ得

一、公債ヲ起シ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間
但シ市(町)(村)内一部ニ於テ負擔スヘキ費用ヲ支辨スル爲起債ヲナス場合ハ此ノ限ニ在ラス

二、基本財産ヲ繰入レ其ノ償還ヲ了スル迄ノ間

三、非常ナル災害ニ罹リタルトキ

四、市(町)(村)内一部ニ對スル賦課ヲ除クノ外地租、營業收益税、特別地稅、家屋稅附加稅並特別稅段別割ノ課率カ法定制限率ノ一倍半ヲ超ユルトキ又ハ特別稅戶數割ノ總額カ當該年度ニ於ケル「町」村稅豫算總額ノ百分ノ七十ヲ超ユルトキ
但シ不均一賦課ナルトキハ平均課率ニ付之ヲ適用ス

第五條 基本財産收支決算ノ要領及現在高ハ毎年度之ヲ公告ス

附 則

本條例ハ發布ノ日(何年度)ヨリ之ヲ施行ス

備考 從來條例ニ年限ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積スルモノニ在リテハ第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項各號ニ依リ基本財産ノ蓄積ヲ停止シタル場合ニ於テハ停止年數ニ應シ其ノ蓄積年數ヲ延長ス

何々基金(資金)蓄積條例準則

(市制第九條第二項 町制第八十九條第二項 參照)

第一條 本市(町)(村)何々ノ費用ニ充ツル爲本條例ノ規定ニ依リ毎年度何々基金(資金)ヲ蓄積ス

(何々ニ際シ何々ノ目的ヲ以テ下賜(寄附)セラレタル恩賜金(寄附金)何圓ヲ根基トシテ本條例ノ規定ニ依リ毎年度何々基金(資金)ヲ蓄積ス)

第二條 左ノ收入ハ之ヲ蓄積ス

- 一、基金(資金)ヨリ生スル收入
- 二、指定寄附金
- 三、其ノ他ノ收入

第三條 前條ノ外市(町)(村)費ヲ以テ毎年度豫算ニ定ムル金額ヲ蓄積ス

(前條ノ外基金(資金)何圓ニ達スル迄市(町)(村)費ヲ以テ毎年度豫算ニ定ムル金額ヲ蓄積ス)

第四條 本基金(資金)ヨリ生スル收入ハ市(町)(村)會ノ議決ヲ經テ何々費用ニ充ツル

町村條例、規則、規程準則 町(村)長有給條例準則

コトヲ得

〔前條ノ蓄積額ニ達シタルトキハ本基金(資金)ヨリ生スル收入ハ市(町)(村)會ノ議決ヲ經テ何々ノ費用ニ充ツルコトヲ得〕

第五條 基金(資金)收支決算ノ要領及現在高ハ毎年度之ヲ公告ス

附則

本條例ハ發布ノ日(何年度)ヨリ之ヲ施行ス

町村長有給條例準則

(町村制第六十一條第四百五條 市制町村制施行令第五十九條第一號 參照)

本町(村)ハ町(村)長ヲ有給トス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村助役有給條例準則

(町村制第六十一條第四百五條及市參照) 市制町村制施行令第五十九條第一號

本町(村)ハ助役ヲ有給トス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村助役増員條例準則

(町村制第六十條第四百五條及參照) 市制町村制施行令第五十九條

本町(村)ハ助役定數ヲ何人トス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村會議員定數増員條例準則

(町村制第十一條第四百七條參照) 市制町村制施行令第五十九條

本町(村)ハ町村會議員ノ數何人ヲ増加シ何人ヲ以テ定員トス

附則

本條例ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

町村特別稅戶數割條例準則

地方稅法律第二十四號第二十二條、二十三條、二十六條 附則第一項同勅令第三三九號第二十一條附則第六項 同施行規則第二十七條、町村制第四百七條 市制町村制施行令第六十條第七號 參照

第一條、本町(村)ハ大正十五年法律第二十四號第二十二條ニ據ル特別稅戶數割(以下

單ニ戶數割ト稱ス)ヲ賦課ス

第二條 戶數割ハ一戶ヲ構フル者ニ之ヲ賦課ス

一、一戶ヲ構ヘサルモ獨立ノ生計ヲ營ム者亦同シ

第三條 戶數割ハ豫算總額ノ十分ノ八ハ納稅義務者ノ所得額ニ十分ノ二ハ資産ノ狀況

ニ依ル資力ヲ算定シテ賦課ス

第四條 左ニ掲クル者ニハ戶數割ヲ賦課セス

一、貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受クル者

町村條例、規則、規程準則 特別稅戶數割條例準則

二、被傭人ニシテ其ノ雇主ノ家ニ同居シ若ハ其ノ店舗内ニ寄寓シ別ニ一戸ヲ構ヘサル者

三、會社又ハ事業主ニ於テ一定ノ場所ニ合宿セシムル職工人夫

四、學校生徒ニシテ單獨又ハ共同シテ一戸ヲ構フル者

五、前各號ノ外町村會ニ於テ特ニ賦課ヲ不適當ト認メタル者

第五條 戶數割納稅義務者ノ各自賦課額ハ毎年度町(村)會ニ於テ議決ス

第六條 本條例ニ依リ納稅義務アル者ハ毎年四月十日迄ニ別記様式ニ依リ所得ノ種類及金額ヲ町(村)長ニ申告スヘシ新ニ納稅義務ヲ生シタル者ハ其ノ際本手續ヲ爲スヘシ

地方稅ニ關スル法律施行規則第二十四條ニ依リ控除ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ申告ト同時ニ申請スヘシ

第七條 納稅義務アル者前條ノ申告ヲ爲サス又ハ申告不相當ト認ムルトキハ其ノ現況ニ依リ町(村)長之ヲ査定ス

附 則 本條例ハ昭和何年度ヨリ之ヲ施行ス

第三條 戶數割總額中納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ依リ資力ヲ算定シテ課スヘキ額ハ當分ノ間十分ノ四トス

別記様式

別記様式

昭和	年分所得額申告書	本籍地
昭和	年 月 日	現住地
	町(村)長宛	氏名印
一、所得額金		
内地方稅法律施行規則第二十三條控除額金		
差引	所得額金	圓圓圓
所得内譯		
種別	所得ノ生スル場所	基本員數
		總收入
		所得額
		所得者氏名
		備考

右所得金額ノ内ヨリ左記老幼不具癡疾者ニ對スル金額控除相成度

申請者トノ續柄	氏	名	生年月日	不具癡疾ノ事由

備考

- 一、二箇市(町)(村)ニ於テ戸數割ノ賦課ヲ受クヘキ場合ハ各其ノ市(町)(村)ニ於ケル所得ヲ納稅地市(町)(村)長ニ申告スヘシ但シ其ノ所得ニシテ分別シ難キトキハ關係市(町)(村)ニ平分スヘシ
- 二、戸數割ヲ納ムル市(町)(村)以外ノ地ニ於ケル所得ハ住所地町(村)ノ所得トス

町村火葬場使用料條例準則 (町村制第九十條乃至第九十三條及第四百四十七條 參照)

第一條 本町(村)火葬場ヲ使用スル者ニ對シテ本條例ノ定ムル所ニ依リ左ノ使用料ヲ徵收ス

- 一等 一屍ニ付 何 圓
- 二等 一屍ニ付 何 圓
- 三等 一屍ニ付 何 圓

但シ何歳未滿ノ者ハ各等料金ノ半額トス

第二條 使用料ハ總テ之ヲ前納トス

既納使用料ハ町(村)長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムル場合ノ外ハ之ヲ還付セス

使用料納付額等級ノ變更ニ依リ使用料ニ異動ヲ生ズル場合不足料金ハ之ヲ追徵シ過

納料金ハ之ヲ還付セス使用ヲ廢シタルトキ亦同シ

第三條 現ニ公費ノ救助ヲ受クル者又ハ使用料ヲ納付スルノ資力ナシト認ムル者ニ對シテハ町(村)長ニ於テ使用料ヲ減免スルコトヲ得

第四條 本條例施行ニ關スル細則ハ町(村)長之ヲ定ム

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村公會堂使用條例準則 (町村制第九十條乃至第九十三條第九條參照)

第一條 本町(村)公會堂ヲ使用セムトスル者ハ左記事項ヲ具シ町(村)長ノ許可ヲ受クヘシ其ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

- 一、使用ノ目的
- 一、使用ノ日時
- 一、使用セムトスル區域
- 一、使用者ノ住所、職業及氏名

第二條 公會堂ノ使用料ハ左ノ區分ニ依リ前納セシム

但シ公益ヲ目的トスルモノハ町(村)長ニ於テ其ノ使用料ヲ減免スルコトヲ得

室 別	甲	乙
第一號(階下)	何 圓	何 圓
第二號(階上)	何 圓	何 圓

前項ノ甲ハ晝間(自午前八時至午後五時)乙ハ夜間(自午後五時至午後十二時)使用料トス但シ晝夜ヲ通シテ使用スル者ハ各其ノ料金ヲ徴收ス

第三條 使用者ノ都合ニ依リ使用ヲ廢止スルモ既納ノ使用料ハ還付セス但シ町(村)長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルヘシ

第四條 使用者ハ其ノ使用中建造物ノ管理及其ノ他一般取締ノ責ニ任スヘシ

第五條 使用中建造物ヲ毀損シ又ハ備品其ノ他ノ物件ヲ滅失シ若ハ毀損シタルトキハ何人ノ行爲タルト問ハス町(村)長ハ賠償額ヲ定メ之ヲ使用者ヨリ徴收ス

第六條 使用ノ方法穩當ナラスト認ムルトキ又ハ本町(村)ニ於テ臨時必要ヲ生シタルトキハ其ノ一部又ハ全部ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ之カ爲使用者ニ損害ヲ生スルモ町(村)ハ其ノ損害ノ辨償ノ責ニ任セス

前項ノ場合ニ於テ既ニ前納シタル使用料ニシテ其ノ使用セサル部分ニ屬スルモノハ之ヲ還付ス

第七條 本條例施行ニ關シ必要ナル細則ハ町(村)長之ヲ定ム

附 則
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

市町村住宅使用條例準則 (町村制第九十條乃至第九十三條第四十七條 參照)

第一條 本市(町)(村)住宅ヲ使用セムトスル者ハ市(町)(村)長ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ五日以内ニ二名ノ保證人ヲ定メ請書ヲ市(町)(村)

ニ差出スヘシ

第三條 使用料ハ月額トシ別表ノ範圍内ニ於テ市(町)(村)會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム使用一月ニ滿チサル使用料ハ住宅使用ノ際ニ於テハ許可ノ日ヨリ返還ノ際ニ於テハ返還ノ日マテ日割ヲ以テ計算ス

第四條 使用料ハ住宅使用ノ際其ノ當月分ヲ第二條ノ請書ト共ニ其ノ後ハ毎月二十五日迄ニ翌月分ヲ納付スヘシ

第五條 市(町)(村)長ニ於テ必要ト認ムルトキハ使用料三月以内ニ相當スル保證金ヲ徴スルコトアルヘシ

第六條 住宅ハ名儀ノ何タルヲ問ハス其ノ一部ヲ他人ニ使用セシメ又ハ其ノ使用權ヲ擔保又ハ貸付ニ供シ若ハ讓渡スルコトヲ得ス但シ家督相續ニ依リ繼承スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ直ニ市(町)(村)長ニ届出ヘシ

第七條 左ノ場合ニ於テハ使用者ハ市(町)(村)長ノ許可ヲ受クヘシ
一、家族以外ノ者ヲ居住セシムトスルトキ

二、模様替其ノ他工作ヲ加ヘムトスルトキ
三、營業ノ爲住宅ヲ使用セムトスルトキ

第八條 市(町)(村)長ハ住宅ノ管理取締上必要アルトキハ市(町)(村)吏員ヲシテ臨時家屋内外ノ檢査ヲ爲シ又ハ必要ナル工事ヲ施行セシムコトアルヘシ

第九條 借受人ニ於テ不可抗力ニ因ルニ非スシテ住宅又ハ附屬物ヲ毀損又ハ滅失シタ

ルトキハ之カ賠償ノ責ニ任セシムルモノトス

第十條 使用期間中ニ本條例又ハ本條例施行細則其ノ他本條例ニ基ク指示等ノ改正アルモ使用者ハ異議ナク之ヲ遵守スルコトヲ要ス住宅一般ノ使用料ノ準率改正ニ依リ使用料ノ増額アリタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ使用者又ハ關係者ニ損害ヲ生スルコトアルモ市(町)(村)ハ其ノ責ニ任セス

第十一條 住宅又ハ附屬物ニ對スル通常修繕費ハ使用者ノ負擔トシ家屋返還ノ場合ニ於テ市(町)(村)ニ對シ之カ修繕費ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

第十二條 住宅ヲ返還セントスルトキハ其ノ五日前ニ市(町)(村)長ニ住宅其ノ他附屬物ノ檢査ヲ受ケ返還ノ手續ヲナスヘシ

第十三條 左ノ場合ニ於テハ市(町)(村)長ハ住宅使用ノ許可ヲ取消シ住宅ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

第十條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
一、使用者又ハ居住者本條例及許可書若ハ之ニ基キ發スル規定其ノ他指示ニ違背シタルトキ

二、使用料金ヲ指定ノ期間内ニ完納セサルトキ

三、市(町)(村)長ニ於テ公益上必要アリト認メタルトキ

第十四條 本條例施行ニ關シ必要ナル細則ハ市(町)(村)長之ヲ定ム
附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本條例施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ貸與ノ承認ヲ受ケ使用セルモノハ本條例ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

市(町)(村)設住宅使用料

種別	疊敷	使用料
甲種	何疊敷	何圓以内
乙種	何疊敷	何圓以内

市町村手数料條例準則

市制第百十三條同第四十二條
町制第九十三條同第四十條
市制町制施行令第六十條 參照

第一條 本市(町)(村)ハ市制第百十三條(町制第九十三條)ニ依リ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付本條例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收ス但シ法律命令又ハ特ニ監督官廳ノ通牒ニ依リ取扱フモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條 左記事項ニ對スル手数料ハ每一件ニ付金何錢トス但シ不動産ニ關スル證明ハ土地ハ何筆建物ハ何棟迄テ一件トシ以上土地ハ何筆建物ヲ何棟ヲ加フル毎ニ手数料金何錢ヲ徵收ス

- 一、地租營業收益稅所得稅其ノ他租稅公課ニ關スル證明
- 二、土地建物船車牛馬其ノ他動產不動産ニ關スル證明

- 三、資産ニ關スル證明
- 四、鑛業ニ關スル證明
- 五、營業職業ニ關スル證明
- 六、法人ニ關スル證明
- 七、身元ニ關スル證明
- 八、品行經歷ニ關スル證明
- 九、在學修學ニ關スル證明
- 十、兵役ニ關スル證明
- 十一、破産ニ關スル證明
- 十二、刑罰、懲戒處分ニ關スル證明
- 十三、褒賞ニ關スル證明
- 十四、不在ニ關スル證明
- 十五、出産、死亡、死産、結婚、相續ニ關スル證明
- 十六、親族隣佑ニ關スル證明
- 十七、面識ニ關スル證明
- 十八、諸資格ニ關スル證明
- 十九、雇人ニ關スル證明
- 二十、財産管理人、破産管財人ニ關スル證明
- 二十一、差配人、納稅代理人ニ關スル證明

- 二十二、種痘ニ關スル證明
 - 二十三、旅行ニ關スル證明
 - 二十四、印鑑ニ關スル證明
 - 二十五、里程ニ關スル證明
 - 二十六、航路航海ニ關スル證明
 - 二十七、社寺宗教ニ關スル證明
 - 二十八、埋火葬ニ關スル證明
 - 二十九、土地其他被害ニ關スル證明
 - 三十、公權能力ニ關スル證明
 - 三十一、漂流物沈没品ニ關スル證明
 - 三十二、文書受理ニ關スル證明
 - 三十三、公簿、公文書、圖面ニ關スル證明
- 前項各號ノ證明ニシテ數人又ハ數事項ヲ一括トシテ一通ノ證明書ヲ請求スル場合ハ一人一事項毎ニ之ヲ一件トシ其ノ件數ニ應シ手数料ヲ徵收ス同一ノ證明ヲ二通以上請求スル場合ハ一通ヲ超ユル通數ハ一通ヲ一件トシ手数料ヲ徵收ス
- 第三條** 公簿、公文書、圖面ノ謄本抄本ノ交付ニ對スル手数料ハ紙數一枚ニ付金何錢トス但シ土地建物ニ關スルモノニ在リテハ第二條第一項但書ノ規定ヲ準用ス
- 第四條** 公簿、公文書、圖面及印鑑ノ閱覽、照合ニ對スル手数料ハ閱覽、照合一回ニ付金何錢トス

- 第五條 徵稅令書、納額告知書等ノ再交付ニ對スル手数料ハ每一通ニ付金何錢トス
- 第六條 手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ第二條、第三條ノ書類ノ送付ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便切手ヲ以テ代納スルモ妨ケス
- 第七條 證明、謄本、抄本ノ下付及閱覽ハ公衆ニ示シ差支ナキモノニ限ル
- 閱覽照合ハ總テ吏員ノ面前ニ於テ爲サシム
- 第八條 手数料ハ各事項ヲ請求スル際之ヲ徵收ス但シ徵收シタル手数料ハ請求事項ヲ取消シ又ハ變更スルモ之ヲ還付セス
- 第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ手数料ヲ徵收セス
 - 一、一般ニ周知ノ必要アル公文書ノ閱覽ヲ求メタルトキ
 - 二、官公署學校ヨリ請求アリタルトキ
 - 三、本市(町)(村)住民ニシテ現ニ公費ノ救助ヲ受ケ又ハ公費ノ救助ヲ受ケムトスル者ヨリ其ノ必要ニ依リ請求シタルトキ
 - 四、鑛山主ヨリ鑛夫ノ兵役關係ニ付證明ヲ求メタルトキ
 - 五、現役並ニ召集中ノ軍人ノ其ノ服役上ニ付證明ヲ求メタルトキ
 - 六、市(町)(村)長ニ於テ手数料ヲ納付スヘキ資力ナシト認ムル者ヨリ請求シタルトキ

附 則

本條例ハ發布ノ日(昭和何年何月何日)(昭和何年度)ヨリ之ヲ施行ス

市町村督促手数料條例準則

(町村制第一百一條、第四百四十七條及市制町村制施行令第六十條 參照)

- 第一條 本市(町)(村)ニ於テ市(町)(村)稅其ノ他ノ收入金ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市(町)(村)長ハ七日以内ノ期限ヲ指定シ督促狀ヲ發ス
- 第二條 督促手数料ハ督促狀一通ニ付金(拾)錢ヲ徵收ス
- 第三條 他ノ市(町)(村)ニ在ル滯納者ニ對シテハ前條手数料ノ外脚夫ヲ以テスル場合ハ其ノ里程ニ應シ往復一里以上一里毎ニ金(貳拾)錢郵便ヲ以テ督促スル場合ハ其ノ實費ヲ增手数料トシテ徵收ス但一里未滿ノ端數ハ計算セス
- 第四條 督促手数料ハ滯納金ノ納付ト同時ニ之ヲ徵收ス
- 第五條 前四條ノ規定ハ夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲ササルトキ又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキ及急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付其ノ金額ノ納付ヲ命シタルトキニ之ヲ適用ス

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金

死亡給與金條例準則

(町村制第八十六條第八十條及第四百四十七條 參照)

第一章 總 則

- 第一條 本町(村)有給吏員並其ノ遺族ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外本條例ノ定ム町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則 二八七

町村條例、規則、規程準則

有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

二八八

ル所ニ依リ退隱料、增加退隱料、扶助料、退職給與金、死亡給與金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 退隱料、增加退隱料及扶助料ハ年金トシ退職給與金、死亡給與金ハ一時金ト

ス前項ノ年額及一時金ノ圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第三條 年金タル退隱料、增加退隱料及扶助料ノ給與ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第四條 本條例ニ規定シタル給料年額トハ月給ノモノニ在リテハ其ノ十二ヶ月分日給ノ者ニ在リテハ其ノ三百六十日分、給料月額トハ年給ノ者ニ在リテハ其ノ十二分ノ

一、日給ノ者ニ在リテハ其ノ三十日分ヲ以テ算出ス

第五條 有給吏員ノ在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

休職中ノ年月數ハ之ヲ在職ノ年月數ニ算入ス

第六條 退隱料、增加退隱料、扶助料、退職給與金及死亡給與金ヲ受ルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第二章 退隱料

第七條 在職十五年以上ニシテ退職シタル者ニハ終身退隱料ヲ支給ス但シ左ノ各號ノ

一、該ルトキハ此ノ限ニ在ラス

一、懲戒ニ依リ解職セラレタルトキ

二、町(村)長ニ於テ任免スヘキ有給吏員ニシテ犯罪アリタルカ爲免職セラレタルト

三、職ニ就キタルガ爲公民タルノ權利ヲ得ヘキ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ

處セラレ失職シタルトキ

第八條 有給吏員公務ノ爲重大ナル過失アルニアラスシテ傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具廢疾トナリ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ前條ノ年限ニ拘ハラズ退隱料及增加退隱料ヲ支給ス

有給吏員公務ノ爲傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退職シタル後何年以内ニ之カ爲不具廢疾トナリ又ハ其ノ程度増進シタル場合ニ於テ其ノ期間内ニ請求シタルトキハ新ニ退

隱料增加退隱料ヲ支給シ又ハ現ニ受クル增加退隱料ニ不具廢疾ノ程度ニ相應スル増

加退隱料ニ改定ス

第九條 退隱料ノ年額ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム但シ在職四十年ヲ超ユル者ニ給スヘ

キ退隱料ハ之ヲ在職四十年トシテ計算ス

一、在職十五年以上十六年未滿ニシテ退職シタル者ハ退職當時ノ給料年額何分ノ何

ニ相當スル額トシ以上在職一年ヲ増ス毎ニ給料年額ノ何分ノ何ヲ加給ス

二、前條ノ規定ニ依ル退職者ハ在職何年未滿ノ者ニ在リテハ退職當時ノ給料年額何

分ノ何何年以上ノ者ニ在リテハ前號ノ規定ニ照準シタル額ノ外其ノ何分ノ何マテ

ノ增加退隱料ヲ加給ス

第十條 退職ノ後再就職シタル者ニ在リテハ前後ノ在職年月數ヲ通算ス但シ第七條各

號ノ一ニ該リ退職シタル場合ニ於ケル在職年月數ハ之ヲ通算セス

第十一條 退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者再就職シ在職滿一年以上ニシテ退職シタ

ルトキハ前後ノ在職年月數ヲ通算シ後職ヲ退キタル當時ノ給料ニ依リ算出シタル退

職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則

有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則

有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

二八九

隱料假定年額ト前ノ退隱料年額トヲ比較シ其ノ多キモノヲ支給ス

第十二條 退隱料ヲ受クル權利ヲ有スルモノ左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ退隱料ヲ受クル權利ヲ失フ

一、國民ノ分限ヲ失ヒタルトキ

二、六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ

三、在職中ノ犯罪ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十三條、退隱料ヲ受クル權利ヲ有スルモノ左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ其ノ間退隱料ノ支給ヲ停止ス

一、本町(村)有給吏員ノ職ニ就キタルトキ

二、禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル

マテノ間

第十四條 退隱料ノ廢止並停止ハ其ノ事由ノ生シタル翌月ヨリ之ヲ始ム

第十五條 退隱料ハ其ノ年額ヲ四分シ毎年一月、四月、七月、十月ニ於テ各其ノ前月迄ノ分ヲ支給ス但シ死亡又ハ權利ノ喪失、停止ノ場合ハ直ニ支給ス

第三章 扶助料

第十六條 有給吏員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ其ノ遺族ニ扶助料ヲ支給ス

一、在職何年以上ニシテ在職中死亡シタルトキ

二、公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタルトキ

三、退隱料ヲ受クル權利ヲ有スル者死亡シタルトキ

第十七條 本章ニ於テ遺族ト稱スルハ有給吏員ノ祖父、祖母、父、母、夫、妻、子、及兄、弟、姉、妹ニシテ有給吏員死亡ノ當時之ト同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

有給吏員死亡ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項規定ノ適用ニ關シテハ其ノ死亡ノ當時其ノ戸籍内ニ在リタルモノト看做ス

第十八條 扶助料ノ年額ハ左ノ各號ニ依ル

一、第十六條第一號及第三號ニ該ル場合ニ在リテハ其ノ退隱料年額ノ二分ノ一ニ相當スル金額

二、第十六條第二號ニ該ル場合ニ在リテハ第九條第二號ニ規定シタル退隱料年額ノ三分ノ二ニ相當スル金額

第十九條 扶助料ハ有給吏員ノ遺族ニ對シ妻、未成年ノ子、夫、成年ノ子、父、母、祖父、祖母ノ順位ニ依リ之ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依ル順位ノ子數人アルトキハ家督相續ノ順位ニ準シ之ヲ定ム

先順位者タルヘキ者後順位者タル者ヨリ後ニ生スルニ至リタルトキハ前項ノ規定ハ當該後順位者ノ失權シタルトキニ限り之ヲ適用ス

第二十條 未成年ノ子ハ未タ婚姻セサルトキ、夫又ハ成年ノ子ハ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且ツ之ヲ扶養スル者無キトキニ限り養子ハ家督相續人タルトキ之ニ扶助料ヲ支給ス

第二十一條 扶助料ヲ受クル者無クシテ死亡シタル有給吏員ノ戸籍内ニ在ル兄、弟、姉、妹ニシテ未成年又ハ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途無ク且ツ之ヲ扶養スル

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

町村條例、規則、規程準則 有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

者無キトキハ扶助料年額三年分ニ相當スル金額ヲ一時限支給ス

第二十二條 扶助料ヲ受クル權利ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ其ノ權利ヲ失フ

一、其ノ戶籍ヨリ去リタルトキ但シ妻、夫ノ屬シタル家ヲ分家シ又ハ遺族タル子ニシテ分家スル者ニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキ及子父ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ有給吏員ノ妻若ハ子ニシテ分家スル者ニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二、妻、子又ハ夫婚姻シタルトキ

三、不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途無ク且ツ之ヲ扶養スル者無キ夫又ハ成年ノ子ニ就キ其ノ事情止ミタルトキ

第十二條第一號及第二號ノ規定ハ本章ニ之ヲ準用ス

第二十三條 扶助料ヲ受クル權利ヲ有スル者禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ルマテ扶助料ノ支給ヲ停止ス

第二十四條 第十四條ノ規定ハ本章ニ之ヲ準用ス

第四章 退職給與金

第二十五條 有給吏員在職何年以上何年未滿ニシテ退職シタルトキハ左ノ割合ヲ以テ

在職年數ノ一年ニ充テ其ノ勤績年數ニ應スル退職給與金ヲ支給ス但シ第八條ノ規定ニ依リ退隱料ヲ受クル權利ヲ有スル者又ハ第七條各號ノ一ニ該ルトキハ此ノ限ニ在ラス

在職滿何年以上ノ者 退職當時ノ給料年額

何分ノ何ノ額

同 何年以上ノ者

何分ノ何ノ額

同 何年以上ノ者

何分ノ何ノ額

第二十六條 在職中公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ職務ニ堪ヘシテ退職シタル者ニハ在職年數ニ依ル前條ノ退職給與金ノ外仍同額ノ給與金ヲ加給ス其ノ在職一年未滿ノ者ニ對シテモ給料一月分ヲ支給ス

第二十七條 退職給與金ヲ受クル權利ヲ有スル者之ヲ受ケスシテ死亡シタルトキハ其ノ給與金ハ遺族ニ之ヲ支給ス

前項遺族及其ノ順位ハ第三章ノ規定ヲ準用ス

第五章 死亡給與金

第二十八條 有給吏員在職中死亡シタルトキハ死亡當時ノ給料年額ヲ以テ前章退職給與金ニ準シ算出シタル金額ニ相當スル死亡給與金ヲ其ノ遺族ニ支給ス

前項遺族及其ノ順位ハ第三章ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 公務ノ爲メ死亡シタル者ニハ前條ノ給與金ヲ與フル外仍同額ノ給與金ヲ加給ス其ノ在職一年未滿ノ者ニ對シテモ給料一月分ヲ支給ス

第三十條 退隱料受給ノ年限ニ達シタル者在職中死亡シタルトキハ扶助料ノ外仍本章ノ死亡給與金ヲ支給ス

第三十一條 傳染病豫防救治従事者手當金支給條例ニ依リ手當金ノ支給ヲ受クル者ハ

第四章及第五章ノ規定ニ依ル給與金ヲ支給セス但シ傳染病豫防救治従事者手當金支

町村條例、規則、規程準則

有給吏員退隱料遺族扶助料退職給與金死亡給與金條例準則

給條例ニ依リ受クル手當金ニ比シ多額ナルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

市町村有給吏員年功加俸條例準則 (町村制第八十五條、第八十八條、第四百四十七條)

第一條 本市(町)(村)有給吏員ニシテ滿五年以上勤續シ成績可良ナル者ニハ本條例ノ定ムル所ニ依リ年功加俸ヲ給ス

第二條 年功加俸ハ勤續五年以上ニ達シタル月ノ翌月ヨリ給料月額百分ノ何ニ相當スル額ヲ支給ス以後滿五年ヲ加フル毎ニ百分ノ何ヲ加ヘ百分ノ何ニ至リテ止ム但シ算出上錢位未滿ハ切捨トス

第三條 前條ノ給料月額ハ年給ノ者ハ十二分ノ一日給ノ者ハ三十日分ヲ以テ算出シ給料額ニ増減アリタル場合ハ現ニ受クル給料額ニ依ル

第四條 年功加俸ハ給料支給ト同時ニ之ヲ支給ス

第五條 勤續年數ハ就職ノ月ヨリ起算ス
左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ退職ノ後再ヒ就職シタル者ハ其ノ前後ノ年數ヲ通算ス

通算ス

一、自己ノ便宜ニ依リ退職シタルトキ

二、懲戒處分ニ依リ解職セラレタルトキ

三、犯罪アリタルカ爲免職セラレタルトキ

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

傳染病豫防救治從事者手當金支給條例準則

第一條 本町(村)吏員並雇傭者ニシテ傳染病豫防救治ニ從事シタルトキ及爲ニ感染シ又ハ死亡シタルトキハ本條例ノ定ムル所ニ依リ手當金ヲ支給ス

第二條 手當金ハ日當、療治料、弔祭料、救助料ノ四種トシ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一、日當ハ病者又ハ病室若ハ病毒汚染ノ虞アル物件及場所ニ接近シタルトキ日數ニ應シ支給ス

一、療治料ハ感染者治療看護雜費トシテ療養中日數ニ應シ支給ス但シ村費ヲ以テ治療セシムル者ハ此ノ限ニ在ラス

一、弔祭料ハ死亡者ノ遺族ニ遺族ナキトキハ親族ニ遺族、親族共ニナキトキハ葬儀執行者ニ支給ス

一、救助料ハ感染者又ハ死亡シタル者ノ遺族ニ一時支給ス
前項遺族ノ順位ハ恩給法ノ例ニ依ル

第三條 手當金ノ額ハ左表ノ通りトス

種別	村長・助役	書記・雇	委員・區長 區長代理者	醫	師	看護人	使丁・人夫
日當							
療治料							
甲祭料							
救助料							

附則
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

市町村會會議規則準則 (町村制第五十九條參照)

第一章 總則

- 第一條 議員ノ席次ハ毎改選後ノ初會ニ於テ抽籤ニ依リ之ヲ定ム補缺議員ノ席次ハ前任議員ノ席次ニ依ル議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ前項ノ例ニ準シ更ニ席次ヲ定ムヘシ
- 第二條 議員出席シタルトキハ出席簿ニ捺印スヘシ
疾病其ノ他ノ事故ニ依リ遲參又ハ缺席セムトスル者ハ當日開議時刻迄ニ其ノ旨議長ニ届出ツヘシ
- 第三條 議員議事中着席又ハ退席セムトスルトキハ其ノ旨議長ニ申告スヘシ

第四條 議事中出席シタル議員アルトキハ議長ハ其ノ議事ノ經過ヲ報告スヘシ

第五條 會議ニ於テハ姓名ヲ呼ハス議長ニ付テハ議長ト呼ヒ參與又ハ議員ニ付テハ其ノ席次番號ヲ呼フヘシ

第六條 議員議席ニ在ルトキハ議決ノ數ニ加ハラサルヲ得ス但シ法律上議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 開議及散會

第七條 會議ハ午前(午後)何時ニ開ク但シ議長ハ時宜ニ依リ豫メ各議員ニ通告シテ開議時間ヲ變更スルコトヲ得

議事日程ニ掲ケタル議事了リタルトキハ議長ハ直ニ散會ヲ宣告スヘシ
議事未タ終ラサルモ午後何時ニ至リタルトキハ議長ハ延會ヲ宣告スルコトヲ得但シ緊急ノ議事ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條 開議ノ時刻ニ至リタルトキハ議長其ノ席ニ着キ諸般ノ報告ヲ爲シタル後會議ヲ開クコトヲ宣告ス

第九條 議長散會延會又ハ議事ノ中止ヲ宣告シタル後ハ何人モ議事ニ就キ發言ヲ爲スコトヲ得ス

第三章 議事日程

第十條 凡テ會議ニ付スヘキ事件及順序並開議ノ日時ハ之ヲ議事日程ニ記載スヘシ

第十一條 其ノ日ノ議事日程ハ(之ヲ議場ニ揭示スヘシ)議長ヨリ口頭ヲ以テ之ヲ議員ニ告知スヘシ

第十二條 議長ハ會議ノ終ニ於テ次會ノ議事日程ヲ議會ニ報告スヘシ

第十三條 緊急事件ニ就キ議事日程變更ノ動議ヲ起スモノアルトキ又ハ議長ニ於テ緊急ト認ムル事件アルトキハ討論ヲ須キス會議ニ諮ヒ之ヲ變更スルコトヲ得

議事日程ニ指定シタル日ニ於テ其ノ記載事件ノ會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ會議終局ニ至ラサルトキハ議長ハ更ニ其ノ日程ヲ定ムヘシ

第四章 議事

第十四條 議長ハ議事ノ始ニ於テ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ但シ議會ニ於テ異議ナキトキハ便宜朗讀ヲ省略スルコトヲ得

第十五條 議案ハ總テ三讀會ヲ經テ之ヲ議決スヘシ但シ議長ノ意見又ハ議員ノ要求ニ依リ議會ニ於テ出席議員三分ノ二以上ノ同意者アルトキハ讀會ヲ省略スルコトヲ得

第十六條 第一讀會ニ於テハ議案ノ大體ニ付可否ヲ決スヘシ
議案ニ就キ質問セムト欲スル者ハ成ル可ク第一讀會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二讀會ニ於テハ第一讀會ヲ經タル議案ノ各細目ニ付之ヲ審議ス
第三讀會ニ於テハ議案全體ノ可否ヲ決スヘシ

第一讀會ニ於テ否決シタル議案ハ廢棄シタルモノトス
第二讀會ニ於テハ議案ニ對シ修正ノ動議ヲ提出スルコトヲ得

第三讀會ニ於テハ文字ヲ更正スルノ外修正ノ動議ヲ爲スコトヲ得ス但シ條例規則等ノ議案中互ニ抵觸スル事項アルコトヲ發見シタルトキ必要ノ修正ヲ動議スルハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 凡テ動議ハ一人以上ノ贊成者アルトキハ議題ト爲ルモノトス但シ委員會ノ意見ハ直ニ議題ト爲スモノス

第十八條 發言セムトスル者ハ起立シテ議長ヲ呼ヒ自己ノ席次番號ヲ稱ヘ其ノ反呼ヲ俟チテ陳述スヘシ二人以上起立シテ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ先起立者ト認ムル者ヲシテ發言セシメ其ノ先後ヲ判別シ難キトキハ議長ノ指定スル所ニ依ルモノトス

延會又ハ議事中止ノ場合ニ於テ發言ヲ終ラサル議員ハ更ニ討論ヲ始ムルトキニ於テ前ノ發言ヲ繼續スルコトヲ得

發言ハ總テ議長ヲ經テ之ヲ爲シ議員互ニ辯論問答スルコトヲ得ス
討論ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ス

第十九條 建議案ハ議員二人以上ノ連署ヲ以テ之ヲ議長ニ提出スヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テ議員二人以上ノ贊成者アルトキハ口頭ヲ以テ之ニ代フコトヲ得

否決セラレタル建議案ハ同會期中再ヒ提出スルコトヲ得ス

第二十條 議長ハ討論ノ終結ヲ宣告ス
討論未タ盡キスト雖議長ニ於テ論旨既ニ盡キタリト認ムルトキ又ハ議員中討論終結ノ動議ヲ提出シ二人以上ノ贊成者アルトキハ議長ハ會議ニ諮ヒ討論ヲ須キスシテ之ヲ決スヘシ

第五章 採決

第二十一條 採決ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ爲スヘシ
一、修正案ハ原案ニ先チ廢棄案ハ修正案ニ先ツ

二、二個以上ノ修正案アルトキハ原案ノ趣旨ニ遠キモノヲ先ニシ其ノ近キモノヲ後ニス

三、修正案總テ否決セラレタルトキハ原案ニ就テ決テ採ルヘシ

第二十二條 議長採決セムトスルトキハ問題ヲ可トスル者ヲ起立セシメ起立者ノ多數ヲ認定シ可否ノ結果ヲ宣告スヘシ

前項可否ノ結果ニ疑アルトキ又ハ議員二人以上ノ異議アルトキハ議長ハ書記ヲシテ議員ノ番號ヲ點呼セシメ議員ハ起立シテ其ノ可否ヲ表スヘシ

點呼ノ結果ニ就キ仍議員二人以上ノ異議アルトキハ議長ハ無記名投票ヲ以テ更ニ表決ヲ爲サシムヘシ

第六章 委員及委員會

第二十三條 議案ノ審査ニ關シ必要アルトキハ議會ハ委員ヲ設ケテ其ノ調査ヲ附託スルコトヲ得其ノ員數ハ議長之ヲ定ム

委員ハ無記名連記投票ヲ以テ議員中ヨリ之ヲ選舉シ最多數ノ得票者ヲ以テ當選者トス同數ノ得票者二人以上アルトキハ議長抽籤ニ依リ之ヲ定ム但シ議會ニ於テ異議ナキトキハ選舉ヲ須キス議長指名シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十四條 委員ニ選舉セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十五條 委員長ハ委員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

委員長ハ委員會ヲ招集シ及其議事ヲ整理ス

第二十六條 委員會ハ委員定數ノ三分ノ二以上出席スルニ在ラサレハ會議ヲ開クコト

ヲ得ス

委員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依ル

第二十七條 委員會ハ其ノ附託ヲ受ケタル事件ニ關シ意見ヲ有スル議員アルトキハ其ノ意見ヲ聞クコトヲ得

第二十八條 委員會ノ審査了リタルトキハ委員長ハ遲滯ナク其ノ意見ヲ議會ニ報告スヘシ

少數ヲ以テ廢棄セラレタル意見ニシテ出席委員三分ノ一以上ノ同意アリタルモノハ委員長又ハ委員ヨリ之ヲ議會ニ報告スルコトヲ得

第二十九條 議會ハ期限ヲ定メ委員會ヲシテ審査ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條 委員會故ナク其ノ報告ヲ遲延スルトキハ議會ハ更ニ他ノ委員ヲ選舉スルコトヲ得

第三十一條 委員會ノ議事ハ傍聽ヲ許サス

第七章 會議錄

第三十二條 會議錄ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、開會、閉會等ニ關スル事項及其ノ年月日

二、開議、散會、延會及議事中止等ニ關スル事項其ノ年月日及時刻

三、議長及其ノ職務代理者ノ官職氏名(制第四十五條及第四百四十四條)

四、議事參與者ノ官職氏名(制第四十六條)

- 五、出席、缺席、遲參議員ノ席次番號及氏名
- 六、議長及委員會報告ノ事項
- 七、會議ニ付シタル議案ノ件名
- 八、委員ニ附託シタル議案ノ件名
- 九、議題ト爲リタル動議及其ノ提出者ノ氏名
- 十、議決及選舉ノ顛末
- 十一、採決ノ方法及可否ノ數
- 十二、前各號ノ外重要ナル事項

第八章 紀 律

- 第三十三條 議員議場ニ列スルトキハ必ス相當ノ禮裝ヲナスヘシ
- 第三十四條 會議中ハ靜肅ヲ旨トシ議場ノ秩序ヲ紊ル所爲アルヘカラス
- 第三十五條 議員會議中町村制又ハ本規則ニ違背シタル所爲アルトキハ會議ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スルコトアルヘシ

市町村會傍聽人取締規則準則 (町村制第五十九條參照)

- 第一條 市(町)(村)會ノ傍聽ヲ爲サムトスル者ハ自己ノ住所氏名ヲ記載シタル名刺ヲ受附ニ差出シ(受附掛ニ自己ノ住所氏名ヲ申出)其ノ指揮ヲ俟チテ入場スヘシ
- 第二條 兇器ノ類ヲ携帯シ又ハ異様ノ服裝ヲ爲シタル者又ハ醉漢若ハ瘋癲、白痴ト認

ムルモノハ傍聽ヲ許サス

- 第三條 傍聽席滿員トナルトキハ入場ヲ許サス
- 第四條 傍聽人ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
 - 一、傍聽席ノ出入ハ最モ靜肅ニ爲スヘシ
 - 二、帽子外套襟卷ノ類ヲ着用スヘカラス
 - 三、傘杖ノ類ヲ携帯スヘカラス
 - 四、猥リニ離席徘徊スヘカラス
 - 五、飲食喫煙又ハ私語スヘカラス
 - 六、議員ノ言論ニ對シ拍手其ノ他何等ノ方法ヲ問ハス可否ヲ表スヘカラス
 - 七、喧擾ニ涉リ議事ヲ妨害スヘカラス
- 第五條 議長傍聽ヲ禁止シ又議會ニ於テ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ若ハ議長ヨリ退場ノ命ヲ受ケタルトキハ速ニ退場スヘシ

附 則

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

何町(村)印鑑證明條例準則

- 第一條 本町(村)ハ住民印鑑ノ確實ヲ期スル爲印鑑簿ヲ備フ
- 第二條 本町(村)住民ニシテ印鑑ノ證明ヲ受ケムトスル者ハ豫メ本町(村)長ニ印鑑ノ届出ヲ爲スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

第三條 前條ニ依リ届出ヲ爲ス印章ハ一人一種ニ限ル

第四條 印鑑ノ届出ハ本人出頭シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

正當ノ理由ニ依リ本人出頭スルコト能ハサル場合ハ書面ヲ以テ届出ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ明記シ且ツ豫テ本町(村)ニ印鑑ノ届出ヲ爲シタル成年者二人以上カ本人ノ印鑑ニ相違ナキコトヲ證明スルヲ要ス

第五條 届出ヲ爲シタル印章ヲ亡失シタルトキハ五日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第六條 印鑑ノ證明ヲ受ケムトスルトキハ本人役場ニ出頭シ印鑑用紙ノ交附ヲ受ケ之ニ印章ヲ捺捺提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ正當ノ理由ニ依リ本人出頭スルコト能ハサルトキハ委任狀ヲ添付シ印鑑ヲ貼付シタル書面ヲ以テ之ヲ請求スルコトヲ得但シ證明書ノ送付ヲ要スルトキハ郵送料ヲ納付スルコトヲ要ス

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本條例發布以前ニ於テ印鑑ノ届出ヲ爲シタル者ハ第二條ニ依リ届出ヲ爲シタルモノト看做ス

何市(町)(村)諸給與條例準則

第一章 總 則

第一條 本町(村)ノ給與ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外總テ本條例ニ依リ支給ス

第二條 本條例ニ依リ支給シ難キ諸給ハ其ノ都度(町)村(會)ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二章 報酬及給料

第三條 名譽吏員ノ報酬額ハ左ノ範圍内トシ其ノ支給額ハ毎年度豫算ヲ以テ之ヲ定ム

町(村)長	年額	參百圓乃至八百圓
助 役	同	何々々
區 長	同	何々々
區長代理者	同	何々々
學務委員	同	何々々
何々委員	同	何々々

第四條 有給吏員給料額ハ左ノ範圍内トシ其ノ支給額ハ豫算ノ範圍内ニ於テ町(村)長之ヲ定ム

助 役	月額	六拾圓乃至百圓
收 入 役	同	參拾圓乃至七拾圓
書 記	同	何々々
技 術 員	同	何々々
雇 員	同	何々々

第五條 報酬ハ十二分シ毎月之ヲ支給ス但シ報酬年額何圓以下ノモノニ限り本規定ニ依ラス毎年度末ニ於テ一時ニ之ヲ支給スルコトヲ得

第六條 報酬給料ハ毎月二十一日ヲ以テ支給ノ定日トス但シ休日ニ當ルトキハ繰下トス

日給ハ毎月末ヲ以テ支給ノ定日トシ休日ニ當ルトキハ繰上トス

第七條 報酬給料ハ新ニ就職シタル者ハ其ノ當日ヨリ増減給ノ場合ニ在リテハ議決若ハ發令ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ又資格變更ノ時ハ相互日割ヲ以テ支給ス

第八條 吏員退職又ハ死亡ノトキハ當月分ノ報酬給料全額ヲ其ノ際支給ス但シ懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ解職ノ當日迄日割計算ノ法ヲ以テ支給ス日給者ハ日數ニ依リ支給ス但シ私事ノ故障ニ依リ出勤セサルトキ(休暇ノ前日ヨリ引續キ出勤セサルモノハ)休日トモ支給セス

第九條 退職又ハ解職ノ者事務引繼又ハ殘務整理ノ爲特ニ命ヲ受ケ執務シタルトキハ在職當時ノ報酬又ハ給料額ニ依リ日割ヲ以テ支給ス但シ前條ニ依リ報酬又ハ給料全額ノ支給ヲ受ケタル者ニハ其ノ月分ハ支給セス

退職又ハ解職ニ依リ當月分報酬又ハ給料ノ支給ヲ受ケタル者其ノ月内ニ再ヒ就職又ハ任用セラレタルトキハ其ノ月分ノ報酬給料ヲ支給セス但シ後職ニ係ル給與額前職給與額ヨリ多キトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第十條 病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ踰ユル者及私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ踰ユル者ニハ報酬又ハ給料ノ半額ヲ減ス但シ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ノ者ハ此ノ限ニ在ラス
傷痍又ハ服忌ノ場合ハ病氣若ハ私事故障ト連續スルモ減俸トナルヘキ缺勤日數中ニ

算入セス

病氣ト私事故障ト連續ノ場合ハ私事故障ハ一日ヲ三日ニ私事故障ト病氣ト連續ノ場合ハ病氣一日ハ三分ノ一ニ換算シテ各之ヲ通算ス但シ端數ハ之ヲ切捨ツ

第十一條 日割計算法ハ其ノ月ノ現日數ニ依リ前項ノ規定ハ之ヲ他ノ諸給與支給ノ場合ニ適用ス

第三章 旅 費

第十二條 有給吏員公務ノ爲旅行スルトキハ旅費ヲ支給ス

第十三條 旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料、食卓料トス

鐵道賃ハ左記旅客運賃及急行料金ニ依リ之ヲ計算ス

一、有給吏員ハ二等運賃トシ運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ上級ノ運賃、其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ乗車ニ要スル運賃

二、八十五軒以上ノ旅行ニ在リテハ普通急行料金但シ急行料金ヲ徴セサル線路ニ依リ旅行スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

三、百七十軒以上特別急行列車ニ乗車シタル場合ニ於テハ特別急行料金

四、特別ノ必要ニ依リ普通急行列車又ハ特別急行列車ニ乗車シタル場合ニ於テハ前二號ノ規定ニ拘ラス其ノ乗車ニ要スル急行料金

船賃ハ旅客運賃(艇船賃、棧橋錢ヲ含ム)及急行料金ニ依リ鐵道賃ノ例ニ準シ之ヲ計算ス

鐵道又ハ水路ニ依ラサル旅行ハ之ヲ陸路旅行トシ車馬賃ヲ支給ス車馬賃ハ其ノ路程

ヲ合算シテ之ヲ支給ス但シ一里未滿ノ端數ハ切捨トス
車馬賃、日當、宿泊料、食卓料ハ別表ニ依ル定額ヲ、日當ハ日數ニ、宿泊料ハ夜數
ニ、食卓料ハ度數ニ應シテ之ヲ支給ス

鐵道賃、船賃、車馬賃ハ順路ニ依リ之ヲ計算ス但シ公務ノ都合ニ依リ順路ニ依リ旅
行シ難キ場合ニ於テハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

第十四條 旅費ノ支給ニ關シテハ旅行日數ハ出張地ニ於ケル滞在日數及途中已ムテ得
サル事由ノ爲要シタル日數ヲ除クノ外鐵道旅行ハ三百四十軒、水路旅行ハ百海里陸
路旅行ハ十二里ニ付一日ノ割合ヲ以テ通算シタル日數ヲ超過スルコトヲ得ス但シ一
日未滿ノ端數ハ之ヲ一日トス

第十五條 陸路六里未滿、鐵道七十八軒未滿、水路三十海里未滿ノ旅行ニ在リテハ公
務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合ヲ除クノ外其ノ支給スヘキ日當ハ定額ノ半額トス
一旅行ニシテ陸路、鐵道又ハ水路ニ互ルトキハ鐵道ハ十三軒水路ハ五海里ヲ以テ陸
路一里ト見做シ前項ノ規定ヲ準用ス

第十六條 町(村)内ノ出張ニハ旅費ヲ支給セサルモ職務上終日ニ涉ルトキハ日當定額
ノ半額ヲ支給ス但シ特ニ町(村)長ノ命令アリタル場合ニ限ル

第十七條 特別ノ事情ニ依リ定額ノ車馬賃ヲ以テ其ノ實費ヲ支辨シ離キ場合ニ於テハ
實費ヲ支給スルコトヲ得

第十八條 本町(村)外ヨリ赴任ノ場合ニ於テハ其ノ職相當ノ旅費ヲ支給スルノ外別ニ
日當三日分宿泊料三夜分ニ相當スル赴任手當ヲ支給ス但シ他市(町)(村)ヨリ通勤ス

ル者ニハ支給セス

第十九條 旅行中退職又ハ解職セラレタル者ニハ旅行先ヨリ役場所在地迄前職相當ノ
旅費ヲ支給ス

旅行中死亡シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ準シ旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給
ス

第二十條 年度又ハ日別ニ依リテ旅費ヲ區別計算スル必要アル場合ニ於テ其ノ區分判
明ナラサルトキハ最近ノ到達地ニ著シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區別シ計算ス

第二十一條 事務引繼又ハ殘務整理ノ爲退職又ハ解職者ニ旅行ヲ命セラレタルトキハ
前職相當ノ旅費ヲ支給ス

第二十二條 兒童、生徒、修學旅行附添ノ爲出張シタルトキハ第十三條ノ規定ニ依ラ
ス旅費日額トシテ一日金貳圓ヲ支給ス但シ陸路六里未滿鐵道七十八軒未滿水路三十
海里未滿ノ旅行ニハ宿泊シタル場合ノ外支給スヘキ日當ハ其ノ半額トス

前項ノ出張ニシテ特ニ鐵道賃、船賃、車馬賃ヲ要シタルトキハ其ノ實費ヲ支給ス

第四章 費用 辨償

第二十三條 名譽職員職務ノ爲旅行ニ要スル費用辨償額ハ別表ニ依ル定額及鐵道賃ヲ
第三章ノ例ニ依リ支給ス

第二十四條 名譽職町(村)長及助役ニハ文具料トシテ一ヶ月何拾錢ヲ報酬ト同時ニ支
給ス但シ執務日數十五日ニ充タサルトキハ其ノ半額ヲ支給シ一ヶ月全ク執務セサル
トキハ之ヲ支給セス

第二十五條 町(村)長ニハ特別費用辨償トシテ年額金何百圓以内ヲ支給ス但シ其ノ支給額ハ毎年度豫算ヲ以テ之ヲ定ム

年額ハ之ヲ四分シ六月、九月、十二月、三月ノ四期ニ分チ各期月ニ於テ報酬ト同時ニ支給ス

第二十六條 前條特別費用辨償年額ハ町(村)長關員ノ場合ハ其ノ職務ヲ代理スヘキモノニ支給スルモノトス

第二十七條 町(村)會議員ノ費用辨償ハ日額壹圓五拾錢トシ職務ノ爲メ出席シタル日數ニ應シ職務終了後之ヲ支給ス

無報酬ノ名譽職員、選舉立會人ノ費用辨償ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第五章 雜給

第二十八條 宿直勤務ニ服シタル吏員ニハ一夜ニ付金何錢使丁ニハ金何錢ノ賄料ヲ支給ス

賄料ハ毎月十日迄ニ其ノ前月分ヲ支給ス

第二十九條 有給吏員ニハ文具料トシテ一ヶ月金何錢ヲ支給ス其ノ支給方法ハ第二十四條ノ例ニ依ル

第三十條 村醫、學校醫等ニ支給スル手當ハ各豫算所定ノ額ヲ毎年度末一時ニ之ヲ支給ス其ノ支給ニ關シテハ第二章ノ規定ヲ準用ス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

		車馬賃(一里ニ付)	宿泊料(一夜ニ付)	日當(一日ニ付)	食卓料(一度ニ付)
名譽職員	四拾錢	貳圓五拾錢	壹圓八拾錢	壹圓八拾錢	
有給吏員	四拾錢	貳圓貳拾錢	壹圓六拾錢	壹圓六拾錢	

市(町)(村)稅賦課徵收規程準則

第一條 本市(町)(村)稅ヲ分チテ左ノ何種トス其ノ課率ハ毎年度豫算ヲ以テ之ヲ定ム

國稅

地租附加稅

營業收益稅附加稅

鑛業稅附加稅

砂鑛區稅附加稅

取引所營業稅附加稅

縣稅

特別地稅附加稅

家屋稅附加稅

營業稅附加稅

町村條例、規則、規程準則 市町村稅賦課徵收規程準則

雜種稅附加稅

特別稅戶數割

第二條 附加稅ハ賦課期日現在ノ事實ニ依リ之ヲ賦課シ其ノ事實一期又ハ一月ニ滿タサル場合ト雖其ノ期又ハ其ノ月ハ全額ヲ賦課ス但シ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條 地租附加稅及特別地稅附加稅ハ一年度ヲ二期(前期ハ其ノ年四月ヨリ九月迄ニ區分シ前期ハ四月一日後期ハ十月一日ヲ以テ期日トシ每期ニ課額ノ二分ノ一ヲ土地臺帳記名者ニ賦課シ前期ハ四月十五日ヨリ同月三十日限リ後期ハ十月十五日ヨリ同月三十一日限リ徵收ス

第四條 家屋稅附加稅及特別稅戶數割ハ每年四月一日ヲ以テ期日トシ納稅義務者ニ賦課シ一年度ヲ四期(二期ハ四月ヨリ六月迄二期ハ七月ヨリ九月迄三期ハ十月ヨリ十二月迄四期ハ翌年一月ヨリ三月迄)ニ區分シ每期四分ノ一ヲ左ノ通徵收ス

第一期 六月十五日ヨリ同月三十日限

第二期 九月十五日ヨリ同月三十日限

第三期 十一月十五日ヨリ同月三十日限

第四期 翌年一月十五日ヨリ同月三十一日限

第五條 營業收益稅附加稅、礦業稅附加稅、砂礦區稅附加稅、取引所營業稅附加稅、營業稅附加稅、雜種稅附加稅ハ各本稅賦課期日ヲ以テ期日トシ國縣稅納付者ニ賦課シ各本稅ト同時ニ徵收ス但法人ニ賦課スル營業收益稅附加稅ニアリテハ決定ノ日ヨリ

市制町村制施行令第四十條該當ノモノニアリテハ賦課步合決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ各十五日限之ヲ徵收ス

第六條 前條ニ掲ケサルモノ竝徵收期前納稅義務消滅シタルモノ及徵收期後ニ至リ納稅義務ノ生シタルモノハ隨時之ヲ徵收ス

稅額ヲ追加シタル場合ノ徵收期限ハ其ノ時々別ニ之ヲ定ム

第七條 賦課期日後ニ於テ新ニ地租條例第十三條ノ二ノ規定ノ適用ヲ受ケ若ハ受クルコトナキニ至リタル者ニ對スル特別地稅附加稅又ハ地租附加稅ノ追徵還付ハ之ヲ爲サス

第八條 徵收期ノ末日休日ニ當ルトキハ順次繰上ケトス

第九條 市(町)(村)稅ノ督促ヲ爲シタル場合ニ於ケル延滞金ハ一日ニ付稅金額ノ萬分ノ四トス

附 則

本規程ハ昭和何年度分ヨリ之ヲ適用ス

何町(村)區及區長、區長代理者設置規程準則 (町村制第六十八條 第八十一條 參照)

第一條 本町(村)ハ左ノ區劃ヲ定メ每區ニ區長及其ノ代理者各一人ヲ置ク

第一區 大字何々(及何々)

第二區 大字何々(又ハ大字何々ノ内何々)

第二條 區長及其ノ代理者ノ任期ハ二年トシ選任ノ日ヨリ起算ス

町村條例、規則、規程準則 區及區長、區長代理者 設置規程準則

補缺者ハ前任者ノ殘任期間在任ス

附 則

本規程ハ昭和何年何月何日ヨリ之ヲ施行ス
從前ノ規程ニ依リ現ニ區長及其ノ代理者ノ職ニ在ル者ノ任期ハ本規程施行ノ前日ヲ以テ了ルモノトス

何町(村)學務委員定數規程準則

(小學校令第六十二條同施行規則第八十參照)
(四條及第八十五條、町村制第六十九條)

第一條 本町(村)學務委員ハ何人ヲ定數トス

第二條 前條ノ定數中小學校男教員ヨリ任命スルモノ何人トス

附 則

本規程ハ昭和何年何月何日ヨリ之ヲ施行ス

何町(村)常設委員設置規程準則 (町村制第六十九條及第八十二條參照)

第一條 本町(村)ニ左ノ常設委員ヲ置ク

何々委員 何人

何々委員 何人

第二條 常設委員ハ町(村)公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ(又ハ町(村)會議員中ヨリ)町(村)長ノ推薦ニ依リ町(村)會之ヲ定ム

第三條 常設委員ノ任期ハ四年トシ選任ノ日ヨリ起算ス

補缺者ハ前任者ノ殘任期間在任ス

附 則

本規程ハ昭和何年何月何日ヨリ之ヲ施行ス

本規程施行ノ際現ニ常設委員ニ在ル者ノ任期ハ從前ノ規定ニ依ルモノトス

何町(村)臨時委員設置規程準則 (町村制第六十九條及第八十二條參照)

第一條 本町(村)ニ臨時何々委員何人ヲ置ク

第二條 委員ハ町(村)公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ(又ハ町(村)會議員中ヨリ)町(村)長ノ推薦ニ依リ町(村)會之ヲ定ム

第三條 委員ハ何々工事竣工(何々調査ノ事務結了)迄在任スルモノトス補缺者亦同シ

附 前

本規程ハ昭和何年何月何日ヨリ之ヲ施行ス

基本財産並特別基本財産管理規程準則

第一條 本町(村)基本財産並特別基本財産ハ各別ニ臺帳ヲ備ヘ其ノ所在、數量、増減變更並貸借ノ關係、處分ノ顛末等ヲ登錄スルモノトス

第二條 土地建物ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ豫メ市(町)(村)會ノ議決ニ依リ之ヲ貸貸スルモノトス但シ營利ノ目的ニアラサル事業ノ爲貸付スル場合ハ料金を徴セサルコトヲ得

町村條例、規則、規程準則

基本財産並特別基本財産管理
規程準則

三一六

第三條 土地、建物ヲ貸付スルトキハ公共團體ニ貸付スル場合ノ外其ノ貸付料ヲ前納

セシムルカ又ハ二名以上ノ保證人ヲ設クルモノトス

前項ノ保證人ハ本縣内ニ住所ヲ有シ辨償ノ資力確實ナル者ニ限ル

第四條 有價證券ハ市(町)(村)會ノ議決ニ依リ左ノ方法ニ依リ之ヲ保管ス

一、郵便官署若ハ確實ナル銀行ニ保護預ケトナスコト

二、堅牢ナル金屬製金櫃ニ藏ムルコト

第五條 現金ハ市(町)(村)會ノ議決ニ依リ左ノ方法ニ依リ之ヲ保管ス

一、郵便貯金又ハ確實ナル銀行若ハ本町(村)信用組合ニ預入ルコト

二、確實ナル有價證券ヲ購入スルコト

三、不動産ニ代フルコト

四、利付ニテ公共團體ニ貸付スルコト

前項利子ノ割合ハ郵便貯金ノ利率ヨリ下ルコトヲ得ス

第六條 預金通帳、保護預證書、貸付證書及預入スル迄ノ現金ノ類ハ第四條第二號ニ

依リ保管ス

第七條 穀物ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ保管ス

一、保存ニ適セル倉庫ニ藏スルコト

二、身元確實ナル者ニ保護預ケト爲スコト

前項ノ穀物ハ俵裝面ニ記號ヲ施シ市(町)(村)長ニ於テ毎年一回以上之ヲ検査シ相當ノ季節ニ於テ之カ改装ヲ爲スモノトス

第八條 穀物ハ市(町)(村)會ノ議決ヲ經一箇年ヲ超エサル期間ニ於テ利殖ノ方法ニ依

リ之ヲ貸與スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本縣内ニ住所ヲ有シ辨償ノ資力アル者二

名以上ノ保證人ヲ設クルモノトス

前項ニ依リ貸與セル穀物ハ返済ノ時期ニ於テ同等品若ハ同等品以上ノ穀物ヲ返付セ

シムルモノトス

第九條 穀物トシテ保存ノ必要アルモノハ市(町)(村)會ノ議決ニ依リ毎年之ヲ更新ス

ルモノトス

附 則

本規程ハ市(町)(村)有財産及市(町)(村)内ノ區又ハ一部有財産ノ管理ニ準用ス

何市(町)(村)何々(名稱ヲ記ス)積立金規程準則

(町村制第八十九條、市制第九條 參照)

第一條 本市(町)(村)ハ何々(費途ヲ記ス)費ニ充ツル爲何々(名稱ヲ記ス)積立金ヲ設

置ス

第二條 左ノ收入ハ毎年度之ヲ蓄積ス

一、積立金ヨリ生スル收入

二、指定寄附金

三、市(町)(村)費ヨリ毎年度豫算ニ定ムル金額

(積立限度額ヲ設クルトキハ第二條左ノ通改ムルコト)

町村條例、規則、規程準則 積立金規程準則

三一七

町村條例、規則、規程準則 傳染病院(隔離病舎)收容患者食費藥價徵收規程準則

三一八

第二條 積立金ハ金何萬圓ニ達スル迄市(町)(村)費ヨリ毎年度豫算ニ定ムル金額ヲ蓄積ス

積立金支出ノ爲本條ノ制限ヲ下リタル場合ニ於テハ再ヒ制限額ニ達スル迄蓄積ス
前二項ノ外積立金ヨリ生スル收入及指定寄附金ハ總テ之ヲ蓄積ス

第三條 積立金收支決算ノ要領及現在高ハ毎年度之ヲ公告ス

附 則

本規程ハ(發布ノ日)(昭和何年度)ヨリ之ヲ施行ス

何町(村)傳染病院(隔離病舎)收容患者食費藥價徵收規程準則

(傳染病豫防法施行規則第三十條 參照)

第一條 本町(村)傳染病院(隔離病舎)ニ收容シタル患者ニ要スル食費、藥價ハ本規程

ニ依リ之ヲ徵收ス

第二條 前條ニ依リ食費、藥價ヲ徵收スヘキ金額ハ左ノ通トス

一、食費 一人一日ニ付 金 何 錢

但シ滋養品又ハ患者ノ請求ニ依リ特ニ供給シタルモノニ付テハ其ノ實費ヲ徵收ス

一、藥價 一人一日ニ付 金 何 錢

但シ病症ニ依リ特ニ高價ノ藥品ヲ用ヒタルトキハ其ノ實費ヲ徵收ス

第三條 本町(村)住民ニシテ現ニ公費ノ救助ヲ受クル者及ヒ町(村)長ニ於テ貧困ノ爲
食費藥價ノ一部又ハ全部ヲ徵收スルルコト能ハスト認メタル者ニ對シテハ之ヲ減免

スルコトヲ得

附 則

本規程ハ發布ノ日(昭和何年度)ヨリ之ヲ施行ス

何町(村)小學校教員諸給與規程準則

(小學校令施行規則第六十一條第六十
二條第六十三條及第六十四條 參照)

(注意 本規程ハ町村會ノ議決ヲ要セス)

第一條 本町(村)小學校教員ニ給スヘキ賄料、療治料、住宅料及文具料ハ本規程ニ依
リ之ヲ支給ス

第二條 賄料ハ一夜ニ付金何拾錢トス

第三條 療治料ハ必要ノ都度豫算ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 住宅料ハ借家料ヲ支拂ヒテ本町(村)内ニ居住スル者ニ限り一月ニ付校長タル
訓導ハ金何圓其ノ他ノ教員ハ金何圓ヲ支給ス但シ兼務者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 新ニ借宅シ又ハ之ヲ止メタルトキノ住宅料ハ全額ヲ支給ス但シ其ノ日數十五
日未滿ナルトキハ半額トス

第六條 文具料ハ筆墨其ノ他文具ノ代料トシテ一月一人ニ付金何拾錢ヲ支給ス但シ兼
務者ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 轉任、休職、(免職、廢職、失職)退職ノ者ニシテ事務ノ引繼又ハ殘務ノ整理

町村條例、規則、規程準則 小學校教員諸給與規程準則

三一九

ヲ命セラレ公務ニ從事シタルトキハ仍從前ノ文具料ヲ支給ス但シ第九條ニ依リ支給
ヲ受ケタル月ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 病氣其ノ他私事ノ故障ニ依リ引續キ執務セサルコト全月ニ涉ルトキハ當月分
ノ文具料ハ之ヲ支給セス

第九條 文具料、住宅料ハ俸給支給ト同時ニ、賄料ハ翌月上旬ニ、療治料ハ事由發生
ノ都度之ヲ支給ス但シ轉任、休職(免職、廢職、失職)退職、死亡ノ者ニハ其ノ際支
給ス

第十條 本町(村)立各種學校職員ニ對スル諸給與ハ本規程ヲ準用ス

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村役場處務規程準則

第一章 分 掌

第一條 本町村役場ニ左ノ係ヲ置ク

議事係	庶務係	學事係	社寺係	社會係	衛生係	勸業係
土木係	戶籍係	兵事係	統計係	文書係	稅務係	會計係

第二條 各係ノ事務分掌左ノ如シ

議事係
一、議員選舉ニ關スル事項

一、町村會及公共組合會ニ關スル事項

一、町村公共組合豫算ニ關スル事項

一、町村債ニ關スル事項

一、條例及規則ニ關スル事項

庶務係

一、吏員以下服務ニ關スル事項

一、身分其ノ他ノ諸證明ニ關スル事項

一、漂流物沈没品ニ關スル事項

一、退隱料扶助料及一時給與金ニ關スル事項

一、史蹟名勝天然記念物ニ關スル事項

一、其ノ他他係ノ主管ニ屬セサル事項

學事係

一、小學校及實業補習學校、青年訓練所、幼稚園、圖書館ニ關スル事項

一、學務委員ニ關スル事項

一、學校衛生ニ關スル事項

一、青年團及婦女會等ニ關スル事項

一、學事統計ニ關スル事項

社寺係

一、社寺、佛堂、教會、說教所ニ關スル事項

町村條例、規則、規程準則 町村役場處務規程準則

社會係

- 一、神職、僧侶諸宗教師ニ關スル事項
- 一、古社寺及什物寶物保存ニ關スル事項
- 一、神社歳入出豫算並決算ニ關スル事項
- 一、賑恤、救濟、感化及地方改善ニ關スル事項
- 一、職業紹介、其他失業ノ救濟防止ニ關スル事項
- 一、軍事救護ニ關スル事項
- 一、勤儉貯蓄、其他生活改善ニ關スル事項
- 一、濟生會、其ノ他ノ救療ニ關スル事項
- 一、移民ニ關スル事項
- 一、其ノ他各種社會事業ニ關スル事項

衛生係

- 一、傳染病豫防其ノ他公衆衛生ニ關スル事項
- 一、健康診斷、種痘ニ關スル事項
- 一、賣藥及賣藥部外品ニ關スル事項
- 一、墓地管理ニ關スル事項

勸業係

- 一、農蠶業、林業、畜産業、水産業、商業、工業並鑛業ニ關スル事項
- 一、博覽會、共進會、品評會ニ關スル事項

土木係

- 一、耕地整理ニ關スル事項
- 一、産業組合ニ關スル事項
- 一、度量衡ニ關スル事項
- 一、勸業統計ニ關スル事項
- 一、道路橋梁其他公共物ニ關スル事項
- 一、建築工事ニ關スル事項
- 一、土地收用ニ關スル事項
- 一、運輸通信ニ關スル事項
- 一、其ノ他土木地理ニ關スル事項

戶籍係

- 一、戶籍ニ關スル事項
- 一、寄留ニ關スル事項
- 一、人口統計ニ關スル事項
- 一、犯罪ニ關スル事項

兵事係

- 一、徵兵志願ニ關スル事項
- 一、召集及徵發ニ關スル事項
- 一、軍人軍屬及廢兵遺族ニ關スル事項

統計係

- 一、統計ノ統一ニ關スル事項
- 一、町村勢一班、町村統計要覽編纂ニ關スル事項
- 一、統計委員訓練ニ關スル事項

文書係

- 一、文書圖書類ノ收受發送並保存整理ニ關スル事項
- 一、法令規則ノ加除訂正及官公報及編纂保存整理ニ關スル事項
- 一、電話ノ發受ニ關スル事項
- 一、揭示公告町村報ニ關スル事項
- 一、廳印職印管守ニ關スル事項

稅務係

- 一、國縣稅及町村稅ノ賦課徵收ニ關スル事項
- 一、使用料手数料夫役現品等ノ賦課徵收ニ關スル事項
- 一、土地其他課稅物件ノ異動及課稅ニ關係アル營業行爲ニ關スル事項
- 一、土木其ノ他課稅物件ノ異動及課稅ニ關係アル營業行爲ニ關スル事項

會計係

- 一、町村ノ會計ニ關スル事項
- 一、町村費ノ決算ニ關スル事項
- 一、受託金ニ關スル事項

- 一、物品ノ調度保管ニ關スル事項
- 一、給仕、使丁、傭人ニ關スル事項

第二章 服 務

- 第三條 執務時間ハ一般官廳ノ例ニ依ル
- 第四條 吏員出勤シタルトキハ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第五條 出勤簿ハ出勤時刻ヲ過キタル後町村長(若ハ庶務係)ニ於テ檢閲シ缺勤出張引願濟旅行賜暇遲參竝前日ノ早引等ヲ調査シ符號ヲ記入スルモノトス
- 第六條 疾病其ノ他不得止事故ノ爲出勤スルコト能ハサル者ハ其ノ事由ヲ具シ定刻一時間以内ニ届出ツヘシ但シ引籠五日ヲ超エ尙引續キ缺勤セムトスル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出爾後一週間毎ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第七條 執務時間中病氣其ノ他ノ事故ニ依リ退廳セムトスルトキハ其ノ事由ヲ届出ツヘシ
- 第八條 考妣ノ祭日賜暇ハ其ノ前日届出ツヘシ
- 第九條 喪ニ丁リタル者ハ死亡者ノ關係ヲ詳記シ届出ツヘシ
- 第十條 吏員病氣其ノ他ノ事由ニ依リ職務ノ地ヲ離レムトスルトキハ町村長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
- 第十一條 出張任務ヲ了ヘタルトキハ直ニ書面又ハ口頭ニテ町村長ニ復命スヘシ
- 第十二條 役場附近ノ火災其他非常ノ異變アルトキハ直ニ登廳シ警戒防禦ニ從事スヘシ但シ其ノ災害ノ自己ニ迫ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三章 當直

第十三條 公暇日並退廳時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ有給助役以下ノ吏員一名輪番ニ累直勤務ニ服スヘシ

第十四條 當直ノ順番ハ庶務係ニ於テ之ヲ定メ前日迄ニ本人ニ通知スヘシ

第十五條 當直者ニシテ前條通知ヲ受ケタル後病氣其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲當直スルコト能ハサルトキハ町村長ニ申出テ他ノ吏員ヲシテ代勤セシムルコトヲ得但シ代勤スル者ナキトキハ庶務係ニ於テ順次繰上ケノ手續ヲ爲スモノトス

第十六條 當直ニ於テ收受シタル文書及電話ハ左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ

- 一、電話ハ之ヲ筆記シ至急ノモノハ直ニ處理スヘシ
- 二、要急ノ親展書及親展電報ハ公翰回付簿ニ登錄シ直ニ宛所ニ送付シ受領印ヲ受クヘシ

三、前項以外ノ親展文書ヲ除ク外ハ直ニ開封シ事急ヲ要スルモノ又ハ重要ニ涉ルモノハ直ニ町村長又ハ主任者ニ送付シ公翰回付簿ニ受領印ヲ徵スヘシ其ノ他ハ次番ノ當直又ハ庶務係ニ引繼クヘシ

第十七條 當直ニ於テ市外電話ノ通話ヲ爲シ又ハ郵便電信若ハ特使ヲ差立テタルトキハ各帳簿ニ記載スヘシ

第十八條 當直ニハ日誌ヲ備ヘ前條ニ掲クルモノノ外左記事項ヲ記載スヘシ

- 一、隨時ニ起リタル事故及之ニ對スル處理ノ要領
- 一、執務時間外又ハ休日ニ勤務セル吏員ノ職氏名

一、當直中ニ登廳シタル官公吏ノ氏名及用務

一、當直中ニ收受シタル電報書狀(封書及葉書等ノ別)ノ差出元及其通數

一、其他重要ト認ムル事項

第十九條 當直員ハ時々廳舎内外ヲ巡視シ火災盜難等警備ニ任スヘシ

第二十條 當直員ハ近火其ノ他異變アルトキハ直ニ町村長以下吏員ニ急報シ一面應急ノ處置ヲ爲スヘシ

第四章 文書取扱

第二十一條 到着ノ文書ハ文書係ニ於テ接受シ各文書件名簿ニ登記シ且書面ノ餘白ニ收受又ハ經由印ヲ捺捺シ月日番號ヲ記入シ町村長ノ檢閱ヲ經即時各主務係ニ配付スヘシ但シ親展文書ハ公翰回付簿ニ登錄シ直ニ其ノ名宛人ニ配付スヘシ

第二十二條 各係ニ於テ文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ處分ノ手續ヲ爲スヘシ但シ特ニ調査期ノ定メアルモノハ此ノ限ニ在ラス

事件複雑ニシテ即日處理シ難キモノハ豫メ調査日數ヲ定メ町村長ノ承認ヲ受クヘシ

第二十三條 處分案ハ起案用紙ニ起草シ關係書類ヲ添ヘ主任者捺印シテ關係係員ニ回議シ助役ヲ經テ町村長ノ決裁ヲ受クヘシ

事件ノ輕易ナルモノ又ハ定例書類ハ其ノ文書ノ餘白ニ處分案ヲ朱書ノ上處行シ又ハ原議或ハ簿册ヲ以テ處行スルコトヲ得處分ヲ要セス閱覽ニ止マルモノハ欄外ニ閱覽ト朱書シ供覽スヘシ

第二十四條 收受文書ニシテ同一趣旨ヲ他ニ移牒スヘキ場合ハ別ニ回議案ヲ作ラス當

該文書ヲ朱書添削ノ上回議ニ代フルコトヲ得

第二十五條 左ニ掲クル事項ノ申請ハ書面ヲ徵セス主任者ニ於テ申請者ノ口述ヲ聽キ

口頭申請受理簿ニ要領ヲ記入シ處理スルコトヲ得

一、納稅身元印鑑住所居所兵役種痘等ニ關スル證明

一、公簿圖書ノ閱覽又ハ謄本抄本ノ交付

一、埋火葬認許證ノ交付(死亡診斷書提出ヲ要ス)

一、前各號ノ外書面ノ提出ヲ要セスト認ムル事項

前各號ノ事項ニシテ書面提出ノモノハ便宜口頭件名簿ニ其旨ヲ記載シ處理ヲ爲スヘ

シ

第二十六條 電話ヲ以テ報告回答通知等ヲ接受シタルトキハ其ノ用件ヲ記入シタル文

書ヲ作製シ第二十一條ニ依リ取扱フモノトス

第二十七條 町村長、助役缺勤ノ場合ニ於テハ常例アリ且輕易ノ事項ニシテ急施ヲ要

スルモノニ限上席書記之ヲ代決スヘシ

助役並前項ニ依ル上席書記代決事項ハ町村長出勤シタルトキハ直ニ閱覽ニ供スヘシ

但シ助役代決事項中輕易ノモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十八條 決裁ノ文書ニシテ交付又ハ發送ヲ要スルモノハ主任者ニ於テ淨寫校合ノ

上原議ト共ニ文書係ニ送付スヘシ

文書係ハ相當件名簿ニ其ノ要領ヲ記入シ發送ノ手續ヲ爲シ原議ハ主任者ニ還附スヘ

シ

第二十九條 發送文書ヲ郵便ニ附スルモノハ郵便差立簿ニ登載シ切手ノ受拂ヲ明ニス

ヘシ

第三十條 町村長ハ日々文書件名簿ヲ點檢シ文書配付ノ日ヨリ三日ヲ過キ未決書類ア

ルトキハ各主任者ニ催告スヘシ

第三十一條 助役分掌事務ノ處理ニ就テハ本章ノ規程ヲ準用ス但シ重要ナル事件ハ助

役決裁後町村長ノ閱覽ニ供スヘシ

第五章 文書ノ整理保存

第三十二條 文書完結シタルトキハ主任者ニ於テ其都度件名簿ニ保存種類及編次番號

等ヲ記入シタル上編綴スヘシ

第三十三條 文書ハ左ノ三種ニ區別シ保存スヘシ

第一種 永久保存、各種臺帳、諸例規指令裁決定議決書及會計諸帳簿其ノ他重要

ナル文書證憑類ニシテ永久保存ノ必要アルモノ

第二種 十箇年保存、第一種、第三種ニ屬セサルモノ

第三種 三箇年保存、一時ノ措辦ニ係リ他日ノ參照ヲ要セサルモノ

保存期限曆年ニ依ルモノハ完結ノ翌年一月ヨリ年度ニ係ルモノハ其ノ翌年度ノ初月

ヨリ起算ス

文書保存方法左ノ如シ

一、現年度ニ屬スル編冊ハ假綴トシ各係主任者ニ於テ保存シ第一、二種ニ屬スルモ

ノハ索引ヲ付スヘシ

- 二、例規トナルヘキ文書ハ特ニ例規編冊ト爲シ索引ヲ付シ加除訂正ノ上主任者ニ於テ保存ス
- 三、現年度經過ノ文書ハ文書係ニ於テ保存スヘシ
- 四、第一種、第二種ニ屬スル文書ハ本綴索引ヲ付シ其ノ他ハ假綴トシ下側面ニ年度種類文書名ヲ記載スヘシ
- 五、編冊表紙ハ總テ厚紙ヲ以テシ簿冊名當該年度並左傍上部ニ保存種類ヲ朱記スヘシ

六、雜書類ハ回覽ニ付シ必要ト認ムル期間存置スルモノトス

第三十四條 文書係ハ簿冊臺帳ヲ調製シ常ニ其ノ増減ヲ明瞭ナラシムヘシ

第三十五條 文書係ニ於テ保存簿冊中保存期限ノ經過シタルモノハ關係係員立會ノ上町村長ノ決裁ヲ受ケ棄却ノ手續ヲ爲シ之ヲ會計係ニ引繼クヘシ若シ保存ノ必要アリト認ムルモノアルトキハ町村長ノ決裁ヲ經テ相當ノ種類ニ編入スルコトヲ得

第六章 公文例

第三十六條 公文ハ別ニ例式アルモノヲ除ク外番號及發付ノ年月日發送先ヲ記シ町村長又ハ何々分掌事務助役ノ名ヲ署スヘシ但シ助役ハ分掌事務ノ外町村長代理ノ文字ヲ冠スヘシ

前項町村長助役名ハ別ニ書式ノ定メアルモノ又ハ監督官廳ヘノ上申請書類等ヲ除ク外氏名ヲ省略シ單ニ何々町村長、助役ト記載スルモ妨ケナシ
收入役副收入役收入役代理者收入役事務兼掌助役ハ各其ノ資格ヲ記載スヘシ

輕易ナル文書ハ役場名ヲ用ユルコトヲ得

第三十七條 令達ハ左記ニ依ル

- 一、條例 町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ヲ規定スルモノ
- 一、規則 營造物ニ關シ條例以外ニ規定スルモノ
- 一、告示 管内一般又ハ一部ニ公示スルモノ
- 一、告諭 管内一般又ハ一部ニ告諭スルモノ
- 一、達 部下吏員又ハ團體個人ニ訓達スルモノ
- 一、指令 稟請又ハ伺ニ對シ指揮スルモノ

第三十八條 令達ハ各種類ニ依リ番號ヲ逐ヒ毎年之ヲ更新ス

書式 第一回議

第 種	月 日決裁	月 日處行	淨 寫	校 合
何年何月何日提議		主任	何々書記	
町(村)長	助役		合議	
何々ノ議ニ付伺				
何々、、、、、可然乎(事ノ輕易又ハ常例ニ屬スルモノハ之ヲ省略ス)				

◎第二往復文書

何第 號(朱記)
何年何月何日

官職 氏 名 官廳(官廳役場)宛 職 氏 名(町村役場)

何々ノ件照會(通牒、回答)
一、何々

以上

◎第三回覽

第何 號
、、、、、、、通知候也(回答候也)
何年何月何日

何町村役場
(何々職 氏 名)

何町村役場宛
供覽

町村長

助役

合議

主任

◎第四不要回議書式

町村長名ニテ朱書ノ
通更正各區長へ
照會可然乎

一 往復文書ノ一(同一趣旨ヲ他へ移牒ノ場合別ニ回議ヲ起
サス收受文書ヲ以テ更正代用スルノ例)
町村長(又ハ町村役場)

發送官廳名

何年何月何日

區長
町村長

町村長
助役
合議
主任

、、、、、、、件照會
貴村字何某ニ係ル、、、、ノ件來ル十五(二)日迄ニ無遲滯御回報相成
度候
備考□ノ文字ハ削除スヘキモノトス

二 往復文書ノ二(事件ノ簡單ナル)
原議發送

町村長

助役

合議

主任

何 號

何年何月何日

宛
、、、、、、、件照會

町村長

町村條例、規則、規程準則 町村役場庶務規程準則

三三四

三 附 箋

町村長[㊟] 助 役[㊟]

合 議[㊟] 主 任[㊟]

何 號 何年何月何日

何々ノ事由ニ依リ還付ス 何 町 村 役 場

命令公示書式

第一 條 例

何々村條例第 號

本村會ノ決議ヲ經内務大臣(本縣知事)ノ許可ヲ得テ何々條例中左ノ通定ム(改正ス)

何年何月何日

何郡何町村長 氏 名

何々 條 例

第一條、、、、

第二 規 則

何々村規則第 號
何々規則左ノ通改正ス
何年何月何日

何郡何町村長 氏 名

何々

第三 告 示
何々町(村)告示第 號

本村會ノ決議ヲ經、、、規程左ノ通定ム

(左記事件ノ爲何月何日ヨリ何々ニ本町(村)會ヲ招集ス)

何年何月何日

何郡何町村長 氏 名

何々、、、、

第四 告 諭
告諭第 號

、、、

何年何月何日

町村條例、規則、規程準則 町村役場庶務規程準則

三三五

町村條例、規則、規程準則 町村役場處務規程準則

三三六

何郡何町村長 氏

名

達第 第五 號

何何 區 長係

、、、、、左ノ通定ム
何年何月何日

何郡何町村長 氏

名

何第 第六 指 令

職名 何何
住所 何何

某某

何月何日付願何々ノ件許可ス(シ難シ何々ト心得ヘシ)
何年何月何日

何郡何町村長 氏

名

決 定 書 第七 定

右申立ノ要旨ハ

住 申立人 氏

名

、、、、、ト云フニアリ
、、、、、
以上ノ理由ニ依リ決定スルコト左ノ如シ

何年何月何日

何郡何町村長 氏

名

第八 辭 令

職 氏

名

(何々兼務)ヲ命ス
何年何月何日

何 町 村 役 場

氏 名

本村書記ヲ命ス

町村條例、規則、規程準則 町村役場處務規程準則

三三七

町村條例、規則、規程準前 町村役場處務規程準則

三四二

備考

- 一、本簿ハ各係毎ニ區別調製シ又ハ事件ノ種類毎ニ口座ヲ設ケ整理スルモ妨ナシ
- 一、手数料ヲ徴收シ得ル事件ト手数料ヲ徴收セサル事件トヲ區別シ口座ヲ設ケ整理スヘシ

第八 郵便差出簿

町村長	月	日	發送先	摘要	拂	殘	取扱者印
①	何月何日			買入	一〇〇	一〇〇	①
②	何月何日	何村役場 外二役場			三九七		①
果計	月計						

第九 市外電話使用簿

町村長	使用月日	通話先	用	件	料金	使用者	収入役
①	月 日					職氏名	①

第一〇 特使雇人伺簿

町村長助	役差立月日	差出先	被傭人住所氏名	件	名	料金	會計係主任
①	①	月 日					①

第一一 簿冊臺帳

年次	簿冊名稱	冊數	書冊番號	滿期年月	廢棄年月日	備考
----	------	----	------	------	-------	----

第一二 出張命令簿

町村長	助役	月	日	命令豫定日數	日間	月	月	日出發	受印
①	①							日歸廳	
務用	先張出					備考	職氏名	書記	

第三 當直日誌

町村長		昭和 年 月 日 曜日		當直員	
⑩		天氣		⑩	
候天		溫氣		登氏務	
廳服		廳名		者用	
員務		當收		宿受	
直文		中書		事記	

第四 當直承認簿

町村長	月 日	區分	當直者氏名	承印	備考
⑩	月 日	晝			
⑩	月 日	夜			

規定上ノ注意

- 一、事務ノ繁閑吏員數ノ都合ニ依リ係ノ數ヲ増減スルコトヲ得
- 一、各係ノ處理事項中其ノ町村ニ必要ナキモノハ之ヲ省クヘシ又各係ノ分掌事項ヲ彼此變更スルハ妨ナシ
- 一、文書ノ種別ハ第一、二、三種ノ外ニ四種ヲ置キ保存期限一ケ年トスルハ差支ナシ
- 一、吏員多數ナル町村ニ於テハ土曜日並休日ニ當直ヲ置キ宿直ト交代セシムルハ妨ナシ
- 一、文書ノ淨寫校合ハ主任者ニ於テ之ヲ爲サス文書係ニ當ラシムルハ妨ナシ
- 一、回議書類ハ主任者職氏名ヲ省略シ單ニ捺印ノミニ止ムルモ妨ナシ

町村會計事務規程準則

總則

- 第一條 町(村)會計事務ハ法律命令中別段ノ規定アルモノノ外本規程ニ依リ取扱フモノトス
- 第二條 國稅及縣稅其他、一時行政上ノ依託ヲ受ケタル金員ハ受託金トシテ取扱フモノトス
- 第三條 町村制第百十九條ニ依リ町(村)長ヨリ收入役ニ交付スヘキ豫算臍本ニハ其ノ交付年月日ヲ記入シ同時ニ否決シタル費途アルトキハ之ヲ通知スルモノトス
- 翌年度歳入繰上充用、一時借入金、費目ノ流用、豫備費支出ノ議決又ハ決定ヲ爲シタルトキ又ハ町村制第百四十三條ニ依リ強制豫算ヲ命セラレタル場合竝繼續費支拂殘額ノ繰越使用ヲ爲ストキ等亦前項ノ例ニ依ルモノトス

第四條 收入役ニ於テ前條ノ交付又ハ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ歳入内譯簿又ハ歳出内譯簿ニ相當ノ記入ヲ爲スモノトス

第五條 會計事務ノ爲左ノ帳簿ヲ備ヘ其ノ都度記帳整理ヲ爲スモノトス但シ戶籍及寄留手數料ハ戶籍寄留簿本抄本交付並閱覽簿ヲ、又町村制第九十三條第二項ノ手數料ハ公文書謄本抄本證明交付簿等ヲ以テ稅外收入徵收臺帳ニ代フルコトヲ得

- 一、町(村)稅徵收臺帳 (第一樣式)
 - 二、夫役現品徵收臺帳 (第二樣式)
 - 三、稅外收入徵收臺帳 (第三樣式)
 - 四、滯納整理簿 (第四樣式)
 - 五、命令番號簿 (第五樣式)
 - 六、現金出納簿 (第六樣式)
 - 七、歳入内譯簿 (第七樣式)
 - 八、歳出内譯簿 (第八樣式)
 - 九、受託金内譯簿 (第九樣式)
 - 〇、現金前渡、概算、繰替拂簿 (第十樣式)
 - 一、町(村)債整理簿(連年使用) (第十一樣式)
 - 二、日計表 (第十二樣式)
- 前項各號ノ帳簿ハ洋式帳簿ト爲スコトヲ得又本帳簿ノ外補助簿ヲ設クルコトヲ妨ケス

第六條 前條諸帳簿ハ每會計年度之ヲ調製スルモノトス

町(村)稅徵收臺帳、稅外收入徵收臺帳、命令番號簿、歳入内譯簿、歳出内譯簿ヲ除クノ外ハ連年通シテ使用スルコトヲ得、帳簿ハ命令番號簿、現金出納簿、受託金内譯簿、町(村)債整理簿、日計表ヲ除ク外會計ノ異ナル毎ニ之ヲ設備スヘシ

第七條 現金出納簿ニハ種類ノ何タルヲ問ハス苟モ町(村)役場ニ於テ收入又ハ支出アルモノハ總テ登記スヘシ

第八條 收入役ハ帳簿ノ結果ニ依リ收支アリタル日ノ日計表ヲ調製シ翌日迄ニ町(村)長ノ閱覽ニ供スルモノトス

第九條 收入、支出命令ハ第十九樣式ニ依ルモノトス

第十條 財産ノ賣却、賃貸、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ニシテ官公署又ハ公共團體及營利ヲ目的トセサル公益法人ト契約ヲ爲ス場合又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

- 一、特定人又ハ法人ノ専有又ハ專賣ニ屬スル物件ヲ買入レ又ハ借入ルルトキ
- 二、臨時急施ヲ要シ競争入札ニ附スル暇ナキトキ
- 三、特殊ノ物質又ハ特定ノ目的ノ爲生産者ヨリ直接物件ノ買入レ又ハ借入レヲ要スルトキ

四、特別ノ技術家ニ命スルニ在ラサレハ製造シ得ヘカラサル製造品又ハ機械器具ヲ買入レ又ハ借入ルルトキ

五、豫定價額五百圓未滿ノ工事ノ請負及見積價額百圓未滿ノ物件ノ購入又ハ借入、

賣却、賃貸ヲ爲スコト
六、競争入札ニ附スルモノ入札者ナキトキ又ハ再入札ニ附スルモノ尙落札者ナキトキ
七、職工、人夫ノ雇傭
物品ノ修繕ニ關シテハ前項ノ規定ヲ準用ス

歲入

第十一條 町(村)税ノ徵收ハ町(村)長ニ於テ町(村)税徵收臺帳ニ依リ少クモ其ノ徵收期日七日前ニ徵稅令書、(第十三樣式)ヲ發付スルモノトス但シ隨時ノ收入ニ係ルモノハ其ノ時々之ヲ發付スルモノトス

町(村)税以外ノ收入金ヲ收入セムトスルトキハ町(村)長ハ稅外收入徵收臺帳ニ依リ使用料、手数料及物件ノ賃貸料、分賦金、加入金、過料、過怠金ノ類ニ付テハ納額告知書(第十五樣式)ノ一)ヲ其ノ他ノ收入ニ在リテハ納付書(第十六樣式)ヲ發付スルモノトス但シ授業料、保育料ニ關シテハ年度ノ始メ若ハ入校、入園ノ際ニ於テ第十五樣式ノ二)依ル納額告知書ヲ各其ノ納人ニ交付スルモノトス
借入金、公債利子、社債利子、預金利子、補助金、交付金其ノ他ノ收入ニシテ納付書ヲ徵シ難キモノハ收入命令ニ依リ直ニ收入スルコトヲ得

夫役現品(第十四樣式)ノ賦課令書ハ町(村)税ノ例ニ準シ之ヲ發付スヘシ

第十二條 町(村)長ニ於テ前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ其ノ徵收臺帳ヲ收入役ニ交付スヘシ

第十三條 徵稅令書、納額告知書又ハ納付書ヲ發シタル後誤謬及異動アルコトヲ發見

シタルトキハ左ノ手續ニ依リ整理スヘシ

一、納付前ナルトキハ其ノ令書告知書又ハ納付書ヲ還附セシメ若ハ之ヲ更訂スヘシ
一、納付後ナルトキハ其ノ調定額ノ不足ニ屬スルモノハ其ノ不足ニ對スル令書、告知書又ハ納付書ヲ發スルモノトス其ノ調定額ノ超過又ハ誤納ニ屬スルトキハ請求書ヲ徵シ拂戻スヘシ

第十四條 收入役ニ於テ現金ヲ收入セムトスルトキハ納人ヲシテ徵稅令書、納額告知書又ハ納付書ヲ差出サシメ之ヲ當該帳簿ト照合シ帳簿及領收書ニ領收月日及領收印ヲ押捺シタル上領收證ヲ納人ニ交付スルモノトス
夫役ヲ使用シ現品ヲ受領シタルトキハ收入役ハ納人ヲシテ賦課令書ヲ差出サシメ之ヲ夫役現品徵收臺帳ト照合シ帳簿及領收證ニ領收印ヲ押捺シ領收證ヲ納人ニ交付スルモノトス

徵稅令書納額告知書又ハ納付書類ノ原符ハ之ヲ一括シ枚數、金額、人員計ヲ記載シタル小票ヲ付シ保存スルモノトス

第十五條 町村制第八條ノ規定ニ依リ納稅延期ヲ許シタルトキハ町(村)長ハ納人ノ住所氏名税目金額及納入期限ヲ收入役ニ通知スヘシ其ノ年度ヲ超ユル場合及減免シタル場合ニ於テハ收入命令ヲ更正シ徵收臺帳及滯納整理簿ノ訂正ヲ爲スモノトス

第十六條 徵收金ニシテ指定ノ納期ニ納付セサル者アルトキハ收入役ハ徵收臺帳ニ依リ人名、種目、期別及滯納金額等ヲ滯納整理簿ニ記入シ町(村)長ニ報告スルモノトス此ノ場合ニ於テ徵收臺帳ニハ「滯納整理簿ニ轉載」ト朱書シテ整理スルモノトス

町(村)長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ督促狀(第十七様式)ヲ發付シ且收入役ニ對シ督促手數料金及延滞金ノ收入ヲ命令スルモノトス

第十七條 收入役現金ヲ領收シタルトキハ前各條記載ノ手續ヲ爲スト同時ニ歲入内譯簿及現金出納簿ニ相當記入ヲ爲スモノトス

歲出

第十八條 町(村)費ノ支出ヲ要スルトキハ町(村)長ハ債主ノ請求書ニ依リ收入役ニ仕拂命令ヲ發スルモノトス但シ數人ノ債主ニ對シ同一費用ノ支拂ヲ要スルトキハ集合支拂命令ヲ發スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各債主ノ金額内譯書ヲ請求書又ハ證據書類ニ添付スルモノトス

請求書ニハ金額、品目、種類、數量、單價及納入年月日等ヲ明記セシメ且旅費請求書ニ付テハ其ノ用務、旅行先、旅行日數、年月日、路程及宿泊地名ヲ詳記セシムルモノトス

第十九條 報酬、給料、退職給與金、死亡給與金、療治料、勉勵賞與金、住宅料、神饌幣帛料、寄附金、町村債元利償還金、基本財産蓄積金、諸稅及負擔、教育委託料郵便切手收入印紙購入其ノ他請求書ヲ徵シ得サルモノハ町(村)長若ハ主任者ノ支出調書ヲ以テ前條ノ請求書ニ代フルコトヲ得

第二十條 收入役ニ於テ第十八條ノ支拂命令ヲ受ケタルトキハ左記事項ヲ調査シ不都合ナシト認メタルトキハ支拂ヲ爲シ領收證ヲ徵スルモノトス但シ正當領收書ヲ徵スルヲ得サルモノ(例へハ郵便切手收入印紙等)ニ付テハ町(村)長ノ承認シタル支拂證

明書ヲ添付スルモノトス

一、債權者ハ正當ナリヤ(代人ナルトキハ委任狀ノ有無)

一、豫算ニ定メタル目的ニ違フコトナキヤ

一、豫算金額ニ超過スルコトナキヤ

一、事前ニ於ケル合規手續ヲ履マサルコトナキヤ

一、金額計算ニ相違ナキヤ

一、科目所屬年度ニ誤リナキヤ

一、豫備費ノ支出ニ付テハ町村會ノ否決シタル費途ニアラサルヤ

一、物品會計規程ニ依ル物品購入修繕伺簿、出張命令簿、特使差立簿等記載ト符合

セリヤ

收入役前項ノ手續ヲ了シタルトキハ歲出内譯簿及現金出納簿ニ相當記入ヲ爲シ支拂ノ證據トナルヘキ書類ハ款別ニ編綴保存スルモノトス

第一項ノ領收書ハ請求證ト連記セシムルモ妨ナシ

第二十一條 現金前渡、概算拂又ハ繰替拂ヲ爲シタルトキハ特ニ定ムルモノノ外事件又ハ用務終了後三日以内ニ精算書ヲ徵スルモノトス

第二十二條 歲出ノ誤拂、過渡ヲ發見シ戻入ヲ要スルトキハ返納人ニ對シ返納告知書(第十八様式)ヲ發スルモノトス

雜則

第二十三條 市制町村制施行規則第三十七條ニ依リ基本財産ニ編入スル爲歲計剩餘金

ヲ支出スル場合ニ於テ町(村)長ハ仕譯書ヲ製シ收入役ニ對シ支出命令ヲ發スルモノトス

收入役ハ其ノ命令ニ基キ直ニ關係帳簿ノ記入ヲ爲スモノトス

第二十四條 國、縣稅其ノ他受託金等ノ受拂ヲ要スルトキハ町(村)長ハ收入役ニ對シ

收入命令又ハ支出命令ヲ發スルモノトス

收入役前項命令ヲ受ケタルトキハ歳入、歳出ノ例ニ依リ直ニ關係諸帳簿ノ記入ヲ爲スモノトス

第二十五條 出納其ノ他ノ會計事務ハ必ス即日記帳整理スルモノトス

第二十六條 徵稅令書、納額告知書、納付書ニ對スル領收證其ノ他出納ニ關スル證憑

書類ニ記入スヘキ金錢ニ係ル一、二、三、十ノ數字ハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用フ

ルモノトス

諸帳簿及證憑書類ハ塗抹改竄糊貼スルヲ得ス若シ止ムヲ得ス訂正又ハ削除ヲ要スル

トキハ原字ノ墨書ナルトキハ朱線、朱書ナルトキハ墨線二條ヲ施シ挿入又ハ訂正ノ

文字ハ右傍ニ記載シ證憑書類ハ正當本人ヲシテ訂正ノ箇所ニ其ノ他ハ取扱者ヲシテ

欄外ニ捺印スルモノトス

帳簿中金額ノ誤謬アルコトヲ後日ニ於テ發見シタルトキハ最終記帳ノ次ニ其ノ事由

ヲ記シテ計算ヲ更正シ(増ハ墨書減ハ朱書)當該誤謬ノ箇所ニハ其ノ事由ヲ朱書スヘ

シ

第二十七條 町村制第二百一十一條ニ依ル例月検査ハ毎月五日迄ニ其ノ前月分ヲ執行シ

シ

現金出納簿ニ「何月何日例月検査済」又ハ「臨時検査済」ト朱書シ町(村)長之ニ捺印ス

ヘシ其ノ臨時検査ニ關シテハ町(村)長ハ議員ト共ニ捺印スルモノトス

第一様式ノ一年(期)稅

昭和	年度
町(村)稅地租附加稅(何々)徵收臺帳	
何郡何町(村)役場	

町村條例、規則、規程準則 町村會計事務規程準則
第一様式ノ三 月税(税目)

三五六

令書 納	人	金	額	及	領	收	印
		四月	一円	〇	五月	一円	〇
		八月			九月		
		十二月			一月		
					二月		
					十月		
					六月		
					七月		
					十一月		
					三月		

第一、税目ノ異ナル毎ニ口座ヲ改ムヘシ
第二、様式ノ四 月税(税目) 縣稅卜併記ノ例

令書 納	人	金	額	及	領	收	印
		四月分	円		五月分	円	
		七月分			八月分		
		十月分			十一月分		
					十二月分		
					六月分		
					九月分		

一、税目ノ異ナル毎ニ口座ヲ改ムヘシ

第一様式ノ五 日税及隨時徴收臺帳

令書 納	人	税	目	納	期	前	金	期	後	額	領	收	印
					月	日	円			円			

一税目ノ異ナル毎ニ口座ヲ改ムヘシ

第一様式ノ六 日税及隨時徴收臺帳 縣稅卜併記ノ例

令書 納	人	税	目	納	期	前	金	期	後	額	領	收	印
		税町(村)	税縣		月	日	円			円			
		税縣	税町(村)		月	日							

町村條例、規則、規程準則 町村會計事務規程準則

三五七

町村條例、規則、規程準則 町村會計事務規程準則

備考

- 一、本簿ハ別ニ帳簿ヲ以テ代用スルモノノ外ハ種目毎ニ口座ヲ設ケ整理スルモノトス
- 二、税外收入徴收臺帳ニハ督促手数料、延滞金、滞納處分費ヲ記載セサルモノトス
- 三、摘要ノ欄ニハ收入ヲ要スル事由ノ概要並算出ノ基礎ヲ記載スヘシ
- 四、延納ヲ許可シタルトキ、減除シタルトキ、缺損ニ歸シタルトキ、滞納整理簿ニ轉載シタルトキ、過誤納還付其ノ他ノ事故ハ摘要欄ニ其ノ要旨ヲ朱記スヘシ
- 五、納額告知書ヲ發セサル收入金ニ付テハ番號及納期ハ記載セサルモノトス

第三様式ノ二

昭和 年度	税外收入徴收臺帳	授業料	何郡何町(村)役場
----------	----------	-----	-----------

番號	兒童名 保護者名	一箇月 金額	領 收 印												摘 要		
			四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月			
一	何何 某某	円 三〇〇 ①															

備考

- 一、毎月授業料ヲ徴收セサル町(村)ニ在リテハ「一箇月金額」ヲ「一期金額」トシ領收印ノ欄ハ所要ノ期間ニ区分スヘシ
- 二、摘要欄ニハ同一戸籍内ヨリ二人以上就學ノ爲授業料ヲ減額シタルトキ、半途ニ於テ就學猶豫、免除トナリタルトキ、其ノ他ノ事故ノ要旨ヲ記載スルモノトス

第四様式

昭和 年度	町(村)税 其他收入	滞納整理簿	何郡何町(村)役場
----------	---------------	-------	-----------

町村條例、規則、規程準則 町村會計事務規程準則

月 日	命令書番號	摘要	受	拂	残
何月何日	支六	會議費何某渡		三七二	
同 日	收五七	雜收入縣知事ヨリ受入	三六九三〇		
同 日	收五八	地租何某外十二人ヨリ受入	五七六三		
同 日	收五九	縣稅營業稅何某外十八人ヨリ受入	三六三一五		
計			一、三三〇八	三七二	一、三六六六
通計			一、七四八三	三五三	一、六九九五

一、計若ハ通計ノ殘額ハ金櫃ノ現金ト符合スヘキモノトス
 二、計若ハ通計ニハ收入役認印スヘシ
 三、舊帳簿ヨリ新帳簿へ轉載スルトキハ舊帳ノ殘額ハ(新帳へ繰越)ト摘要ニ記シテ拂ニ立テ又新帳ニハ(何月何日殘舊帳ヨリ越高)ト記シ受ニ立ツヘシ

第七様式

昭和 年度	歳入内譯簿	何郡何町(村)役場
-------	-------	-----------

町(村) 税	(毎款之ヲ作ル但シ特別會計及部落會計ハ歳入總計ニ依リ整理スルコトヲ得)				
月 日	命令書番號	摘要	豫算額	收入額	未收額
何月何日		豫算額	二、五六五二五		円
何月何日	收六	第何期何稅何某納		一五〇	
		計	二、五六五二五	一五〇	二、五六三七五
何月何日	收七	第何期何稅何割何某人納		二六三二五	
		通計	二、五六五二五	二六四七五	二、三〇〇五〇
何月何日		第何期追加何稅豫算額	六五七五〇		

		通計⑩		三、三三七五	二、六四七五	二、九五八〇〇
何月何日	收八	第何期追加何税何某人納			二五五五	
何月何日	何々ニ依リ何税豫算減額		朱	一五〇〇		
何月何日	收九	第何期追加何税何某納			三五〇	
計					二九二五	
通計⑩				三、〇七二七五	三、九三九〇	二、六六八八五

町(村)税 地租附加税

何月何日	自	至	何期令書發布	豫算額	七九六五	円	調定済額	三九四八三	円	收入済額	三九三三〇	円	收入未済額	一五三	円	豫算ト差	三九四八三	円
何月何日	至	七〇	高															

何月何日	收七	何某外何人納		二六三三五		二二二七	五二四〇
何月何日	收八	何某外何人納		一五三〇		二六二七	五二一〇
何月何日	收九	何某外何人納		一三〇二		三三五	三九八〇
何月何日	收一〇	滞納處分ノ上收 入及缺損何某分		一七三		一五三	三九四八三
計				六九六五		三九四八三	三九四八三

第八様式

昭和	年度	何郡何町(村)役場
歳出	内譯簿	

役場費 (毎款之ヲ作ル特別會計部落會計ハ歳出總計ニ依リ整理ス)

月 日	命令書 番號	摘	要	豫算額	仕拂濟額	未仕 濟額
何月何日		豫算額		四、五六五二五	円	円
何月何日	一	出張旅費書記何某渡			二七五	
	計			四、五六五二五	二七五	四、五六二五〇
何月何日	二	出張旅費書記何某概算渡			一三八五	
同 日	三	何月分給料書記何某外四人渡			一三五〇〇	
	計				一三八八五	
	通計			四、五六五二五	一四一六〇	四、四二三六五
何月何日	六	何々代何某渡			三七二	
何月何日	七	何品買入代何某渡			二〇〇	
何月何日	八	何所修繕費何某渡			三六五	

何月何日	九	郵便切手買入代			五〇〇	
	計				一四三七	
	通計			四、五六五二五	一五五九七	四、三〇九二八

(某) 給料

月 日	命令書 番號	摘	要	豫算額	仕拂濟額	未仕 濟額
何月何日	三	何月分給料書記何某外四人渡			二五〇	
	計			一、四二五〇〇	一、四二五〇〇	一、三〇〇〇〇
何月何日	一〇	何月分給料收入役何某渡			一五〇〇	
同 日	一一	何月分給料小使何某渡			一三五〇	
	計				二八五〇	
	通計			一、四二五〇〇	一、五三五〇	一、二七二〇〇

町村條例、規則、規程準則 町村會計事務規程準則

一、款ノ部豫算額ノ登記方及内譯ノ區分等ハ歲入内譯ニ同シ
 一、過拂金又ハ繰替拂金ノ戻入ハ月日及摘要欄ハ墨書シ其ノ金額ハ仕拂濟額欄ニ朱書スヘシ

第九様式

昭和 年度

受 托 金 内 譯 簿

何 郡 何 町 (村) 役 場

元 受 之 部		月 日	命 令 書 番 號	摘 要	受 領 額	仕 拂 額	残 額
		何 月 何 日	五 八	縣稅第何期何稅何某外何人分受入	三六二五	〇	三六二五
	計				五〇五五		
		何 月 何 日	一 九	縣稅第何期何稅何支金庫へ納付		一三六二五	
		何 月 何 日	二 二	第何期地租何某外何人分受入	一、二六三三		
	計				一、二六三三	三三六〇	

		何 月 何 日	九 九	水災救助金何某外何人分滋賀縣ヨリ受入	一五三〇		
		何 月 何 日	二 〇	第何期地租何稅務署へ納付		一、二六三三	
		何 月 何 日	一 〇 一	行旅病人何某ニ係ル費用滋賀縣ヨリ受入	三六三		
		何 月 何 日	一 〇 二	棄兒養育費何月分滋賀縣ヨリ受入	六三五		
	計				二、二八	一、二六三三	
	通計				一、七九二八	一、五七五五	二二八三

一 時 扱 金		月 日	命 令 書 番 號	摘 要	受 領 額	仕 拂 額	残 額
		何 月 何 日	九 九	水災救助金何某外何人分滋賀縣ヨリ受入	一五三〇	〇	一五三〇
		同 日	一 〇 一	行旅病人何某ニ係ル費用滋賀縣ヨリ受入	五六三		
		同 日	一 〇 二	棄兒養育費何月分滋賀縣ヨリ受入	六三五		

町村條例、規則、規程準則 町村會計事務規程準則

計	二五二六			
通計	三四五八	一七六三	二八二五	
何月何日	一九	行旅病人何某藥價何某渡	一九六	
何月何日	二〇	棄兒養育料何月分何某渡	六三五	
計			八三二	
通計	三九四六		一八四六	二〇九二

地租	月日	命令書番號	摘要	受領額	仕拂額	仕未濟額
計				一、二六三三	一、二六三三	
何月何日	七六		第何期地租何某外何人分受入	一、二六三三	一、二六三三	
何月何日	二〇		第何期地租何稅務署へ納付			一、二六三三

第十様式

縣稅營業稅	月日	命令書番號	摘要	受領額	仕拂額	仕未濟額
計				一、二六三三	一、二六三三	
何月何日	一		第何期何稅何某外何人分受入	一、二六三三		一、二六三三
何月何日	一九		縣稅第何期何稅何支金庫へ納付		一、二六三三	
計				一、二六三三	一、二六三三	

昭和 年度
 現前年度
 概算
 繰替
 簿

何郡何町(村)役場